

# 第5回三木市学校給食審議会 次第

日 時：令和6年2月2日（金）

午後7時から

会 場：三木市役所5階大会議室

## 1 開会

## 2 議事

・三木市学校給食に関する課題について

　三木市の農業の状況について（農業振興課）

　学校給食に関するアンケートの結果について

## 3 まとめ

## 4 閉会

# 三木市の農業の状況について

令和6年2月

産業振興部農業振興課

## 目 次

---

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 第1 三木市の農業について .....       | 1 |
| 1 三木市の概況 .....            | 1 |
| (1) 位置・地勢 .....           | 1 |
| (2) 土地利用 .....            | 1 |
| (3) 人口 .....              | 2 |
| 2 農業の現況 .....             | 3 |
| (1) 農業の特徴 .....           | 3 |
| (2) 農業生産の動向と見通し .....     | 5 |
| (3) 農業上の土地利用の現況と見通し ..... | 6 |
| 3 農業経営の現況 .....           | 7 |
| (1) 農家の規模と構成 .....        | 7 |
| (2) 農業経営体の規模と構成 .....     | 7 |
| (3) 農業経営の現況と課題 .....      | 7 |
| 第2 三木市の有機農業について .....     | 9 |
| 1 三木市の状況 .....            | 9 |
| 2 三木市の取組 .....            | 9 |

# 第1 三木市の農業について

## 1 三木市の概況

### (1)位置・地勢

本市は兵庫県の南東部にあり、東経135度の日本標準時子午線上に位置し、市域面積は、176.51km<sup>2</sup>を有しており、北部は三田市・加東市・小野市、西部は加古川市・稻美町、南東部は神戸市にそれぞれ接している(図1-1参照)。

加古川の支流である美嚢川が中央部を東西に流れ、美嚢川周辺には平野部が広がり、それを囲むようになだらかな丘陵地、台地で構成されている。また、農業用のため池が多く存在し、緑豊かな自然に恵まれている。

台風などの自然災害による被害が比較的少ない地域であり、気候は、瀬戸内海式気候のため温暖で過ごしやすい地域となっている。

また、京阪神方面と中国・四国方面、日本海方面を結ぶ高速道路網の結節点となっており、山陽自動車道、中国自動車道が市内を横断し、3カ所のインターチェンジがあり、大阪、神戸及び姫路から車で1時間以内の時間距離となっている。

高速道路網の形成により、広域的な交通利便性に優れた地域となっており、ゴルフ場をはじめ、三木山森林公園、三木ホースランドパーク、山田錦の館、吉川温泉よかたんなどの観光・レクリエーション施設には、多くの人々が訪れている。また、広域防災拠点やスポーツ振興拠点の役割を担う兵庫県立三木総合防災公園、新産業創造拠点としてひょうご情報公園都市が整備されている。

### (2)土地利用

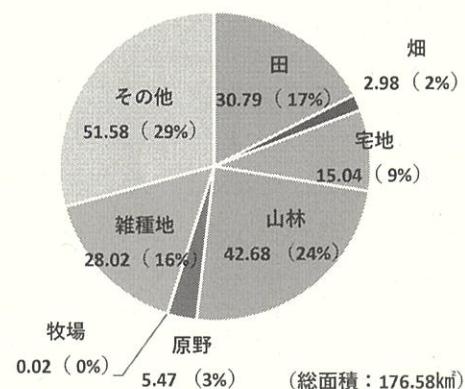
本市は、旧市街地、新興住宅地、農村地域の3つの地域があり、市の南部に人口が集中し、神戸市の北西に隣接した阪神間のベッドタウンとして発展してきた。また、丘陵地にはゴルフ場、平野部には農村地帯が広がっている。

土地利用の状況は、図1-2に示す通りであり、その他(29%)を除くと、山林が占める割合が全体の24%と最も多くなっている。次いで、田の17%、雑種地の16%で、宅地は9%などとなっている。

図1-1 三木市の位置



図1-2 土地利用の状況



出所:「令和2年版三木市統計書(市の面積)」  
より作成

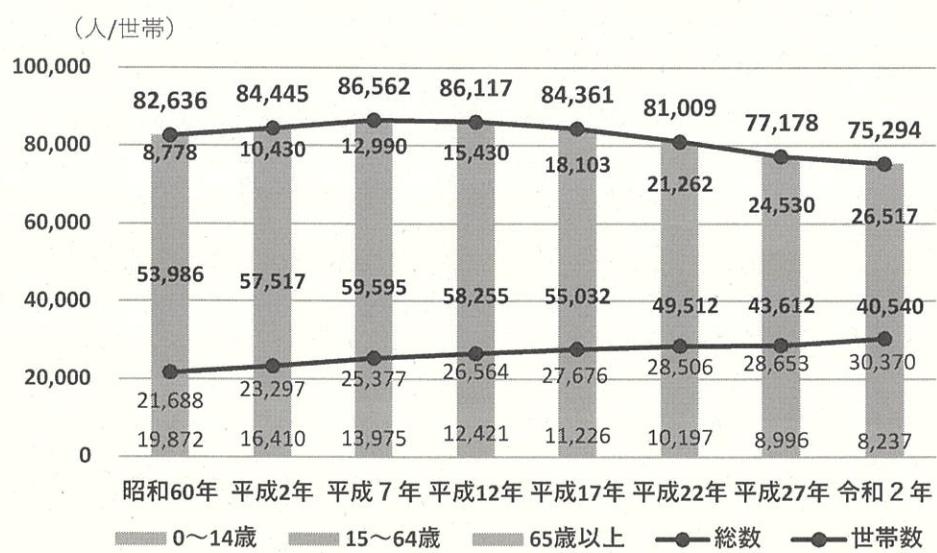
### (3)人口

本市は、昭和39(1964)年頃から阪神間のベッドタウンとして神戸電鉄沿いを中心に、緑が丘や自由が丘、青山などで大規模な住宅開発が行われ、人口が急激に増加したが、平成12(2000)年頃から減少傾向となり、令和2(2020)年には75,294人と平成12(2000)年より10,823人(13%減)の減少となっている(図1-3参照)。

また、少子高齢化の進展により、令和2(2020)年の高齢化率は35.2%となっている。

一方で、令和2(2020)年現在の世帯数は、30,370世帯と10年前の平成22(2010)年より5%増加しており、人口の推移とは相反していることから、核家族化が進むとともに、単独世帯(1人暮らしの世帯)の比率が増加している傾向にある。

図1-3 年齢3区分別人口推移



出所:「国勢調査」より作成

令和2年現在、75,294人と10年前の平成22年の7%減少しており、農家人口は、9,838人から6,047人と4割近く減少している。なお、農家世帯は、3,054世帯から2,345世帯と23%減少している。

表1-1 総人口、世帯数及び産業別就業人口の動向

(単位:人、世帯、%)

|       | 総人口<br>うち農家<br>人口 | 総世帯数  |        | 産業別就業人口   |        |       |       |
|-------|-------------------|-------|--------|-----------|--------|-------|-------|
|       |                   |       | うち農家   | 総就業<br>人口 | 第1次    | うち農業  | 第2次   |
| 平成22年 | 81,009            | 9,838 | 28,506 | 3,054     | 37,976 | 1,191 | 1,186 |
|       | 100.0%            | 12.1% | 100.0% | 10.7%     | 100.0% | 3.1%  | 3.1%  |
| 平成27年 | 77,178            | 7,154 | 28,653 | 2,709     | 35,333 | 1,450 | 1,446 |
|       | 100.0%            | 9.3%  | 100.0% | 9.5%      | 100.0% | 4.1%  | 4.1%  |
| 令和2年  | 75,294            | 6,047 | 30,370 | 2,345     | 32,874 | 1,699 | 1,696 |
|       | 100.0%            | 8.0%  | 100.0% | 7.7%      | 100.0% | 5.2%  | 5.2%  |

(注)「平成22年」、「平成27年」、「令和2年」の総人口、総世帯数、「平成22年」、「平成27年」の産業別就業人口は国勢調査、「うち農家人口」及び「うち農家」については農林業センサスの結果による。

## 2 農業の現況

### (1) 農業の特徴

三木市の農業は小規模経営農家が多く、主に水稻単作となっており、その多くで酒米「山田錦」の作付けが行われている。

日本酒造りに用いられる酒米「山田錦」は、大粒で米の中心に心白がありタンパク質が少ないとされ、酒の雑味が抑えられ、至高の日本酒を生み出す最高の原料となっており、本市の「山田錦」の生産量は、全国の約15%を占める日本最大の産地となっている。

本市では、山田錦生産農家の生産意欲の向上、生産拡大と品質向上を図るため、山田錦生産農家が農業経営の改善をするために必要な施設や機械の購入を助成する認定農業者等支援補助金、農林畜産振興事業補助金等により、市内での山田錦生産農家の育成や、農業所得の向上による持続可能でたくましい農業の創出を図っている。

表2-1 農産物販売金額1位の部門別の経営体数(令和2年度)

(単位:戸)

| 経営<br>体数 | 稻作    | 豆類<br>雑穀 | 露地<br>野菜 | 施設<br>野菜 | 果樹   | 花き   | その他  | 酪農   | 養鶏   |
|----------|-------|----------|----------|----------|------|------|------|------|------|
| 1812     | 1708  | 6        | 22       | 9        | 44   | 10   | 2    | 8    | 3    |
| 100%     | 94.3% | 0.3%     | 1.2%     | 0.5%     | 2.4% | 0.6% | 0.1% | 0.4% | 0.2% |

出所:農林業センサス

#### (ア) 米(酒米)

米の農業生産額に占める割合は非常に高く、栽培技術の向上及び品種改良により、収量は順調に伸びてきたが、近年は横ばいの傾向にある。

特に酒米「山田錦」については、需要も高く、吉川、口吉川地区を中心に良質な産地となっている。

今後は、経営規模の拡大、生産体制の組織化等を通じて生産コストを低減することが急務であり、自立経営農家を中心とする集落単位の組織化と農業機械の共同利用により、効率的な生産体系の確立を図る。また、主食用については消費者のニーズにあった品種に転換していくことが求められている。さらに、食の安全への関心の高まりを踏まえ、減農薬・減化学肥料栽培の団地化、ブランド化を図るための高性能農業機械等の導入を検討する。

#### (イ) 大豆

大豆の栽培は、畠畔大豆、畑作大豆として古くから栽培されていたが、換金作物として収益性が低いことと、労働力の不足から畠畔大豆は年々減少し、代わって集落全体の取組として丹波黒大豆と枝豆の栽培が増加している。

肥沃な土地条件を活かし、黒大豆の生産・出荷・流通体制を確立し、市の新しい特産品として位置づけ、集団転作、栽培の団地化を図る。また、機械化一貫体系の確立を図るとともに、脱穀、乾燥、調整については農協の大型機械等を効率的に利用し、コスト縮減を図る。

#### (ウ)野菜

露地トマトは、従来「みよしトマト」として生産されていたが、近年はハウスによる促成栽培が行われるようになった。今後は省力化による生産コスト低減と規模拡大を図り、都市近郊立地を活かした有利販売により振興を図る。

レタスは、県の産地指定を受け、各農協の取組のもとに栽培されている。しかし、出荷量については減少傾向にある。今後は、生産性の向上を図り、高品質野菜を安定的に供給できる産地を育成するとともに、市場における評価の確立と都市近郊立地を活かした生産の振興を推進していく。

玉ねぎは、別所地区で生産が広がっており、三木市の重点振興作物として振興を図っている。

野菜については、地産地消を推進し、直売施設での販売等ニーズに合わせた出荷を進めるとともに、学校給食への食材の確保に努める。

#### (エ)ぶどう

ぶどうが導入された昭和38年には、11haの面積であったが、国営農地造成事業や農業構造改善事業等により栽培面積が急増した。本市は瀬戸内気候に属し、ぶどう等の果樹栽培の適地であり、都市近郊で流通対策にも適している。

生産者の高齢化等により、栽培面積は減少傾向にあるが、観光ぶどう園を中心に、直売、宅配等ニーズに合わせた出荷を行うとともに、ピオーネや藤稔、シャインマスカットなど、消費者ニーズに合わせた品種への転換を進めている。

#### (オ)菊

昭和初期には菊が導入され、自然条件に恵まれた良質の栽培が行われ、その後、改良された市場では「志染の菊」として名声を高め、取引も活発に行われている。特に、兵庫みらい農協(旧三木市東農協)では共販体制をとり、阪神市場に出荷している。夏菊を中心として、輪菊・小菊・スプレー菊と多様な栽培が行われ、久留美、志染、細川、吉川地区においてハウス及び露地栽培の面積は約4haとなっている。

生産者の高齢化と後継者不足で縮小傾向にあるが、新規就農者の加入もあり、今後は施設集約的な産地をめざす必要がある。

#### (カ)畜産

肉用牛の飼養戸数は、昭和48年の畜産危機に遭遇したのに加え、その後も環境問題や貿易問題等が厳しさを増すにしたがい、飼養者は減少している。三田肉、神戸肉の供給基地として、稻作と結びついた小頭数の飼育農家と肥育専業家がある。

乳用牛については、多頭飼育、飼料自給率の向上を図るなど、合理的な畜舎設備と集乳体系を整え、耕畜連携を進め、部分共同利用による粗飼料生産、排せつ物処理、乳質改善に努める必要がある。

養鶏については、年々飼養戸数は減少し、従来の家族的小規模経営から企業的な大規模専業経営へと推移している。鶏ふんの土地還元を容易にするための処理施設の設置と、環境整備を促進する必要がある。

## (2) 農業生産の動向と見通し

| 作目  | 平成22年                        |             | 平成27年                        |             | 現在(令和2年)                     |             |
|-----|------------------------------|-------------|------------------------------|-------------|------------------------------|-------------|
|     | (<br>作付<br>面積<br>頭<br>数<br>) | 生<br>産<br>量 | (<br>作付<br>面積<br>頭<br>数<br>) | 生<br>産<br>量 | (<br>作付<br>面積<br>頭<br>数<br>) | 生<br>産<br>量 |
|     | ha・頭・千羽                      | t           | ha・頭・千羽                      | t           | ha・頭・千羽                      | t           |
| 稻   | 1,740                        | 8,230       | 1,723                        | 8,357       | 1,812                        | 8,426       |
| 麦類  | X                            | X           | X                            | X           | 3                            | 7           |
| 豆類  | 67                           | 68          | 53                           | 53          | 30                           | 21          |
| 野菜類 | 露地                           | 40          | —                            | 48          | —                            | X           |
|     | 施設                           | 6           | —                            | X           | —                            | 3           |
|     | だいこん                         | —           | —                            | 11          | 470                          | 3           |
|     | はくさい                         | —           | —                            | 3           | 177                          | 2           |
|     | さといも                         | —           | —                            | 1           | 11                           | X           |
|     | キャベツ                         | —           | —                            | 2           | 70                           | X           |
|     | ほうれんそう                       | —           | —                            | 1           | 13                           | 1           |
|     | レタス                          | —           | —                            | 2           | 48                           | 1           |
|     | ねぎ                           | —           | —                            | 2           | 37                           | X           |
|     | たまねぎ                         | —           | —                            | 2           | 106                          | 2           |
|     | きゅうり                         | —           | —                            | 2           | 36                           | 1           |
|     | なす                           | —           | —                            | 2           | 35                           | 2           |
|     | トマト                          | —           | —                            | 3           | 76                           | 2           |
| 果樹類 | いちご                          | —           | —                            | 2           | 10                           | X           |
|     | 露地                           | 64          | —                            | X           | —                            | —           |
|     | 施設                           | 1           | —                            | X           | —                            | —           |
|     | ぶどう                          | —           | —                            | 50          | 500                          | 29          |
| 花き  | くり                           | —           | —                            | 8           | 6                            | —           |
|     | 露地                           | 12          | —                            | 6           | 17                           | 3           |
|     | 施設                           | 2           | —                            | X           | —                            | 1           |
| 畜産  | 乳用牛                          | 660         | —                            | 461         | —                            | 358         |
|     | 肉用牛                          | 422         | —                            | X           | —                            | X           |
|     | 採卵鶏                          | 89          | —                            | 297         | —                            | 818         |

(注)1 作付面積は、「販売を目的とした農畜産物の作付・飼養状況」(農林業センサス)を用いている。

2 生産量は、「近畿農林水産統計年報」より当該品目及び年度の1ha当たりの収量を算出し推計している。

3 「—」は、未調査ないし単位に満たないもの(例:0.4ha → Oha)、「X」は、秘匿値。

4 資料:農林業センサス、近畿農林水産統計年報

### (3) 農業上の土地利用の現況と見通し

本市の農用地区域内農地(現況)は、3,266.7haであり(表1-2参照)、全国一の生産量を誇る酒米「山田錦」の生産を中心とした水稻栽培に加え、都市近郊の立地条件を活かした野菜、花き、果樹等の生産に利用されている。

将来においてもこの現況を踏まえ、認定農業者等の担い手や集落営農組織を育成し、経営の合理化と農用地の有効利用を図り、農用地等の維持を図る。

表2-2 農用地等利用の方針

単位：ha、%

|     | 農地      |         |     | 採草放牧地 |     |     | 混牧林地 |     |     | 農業用施設用地 |      |     | 計       |         |     | 森林・原野等現況 |
|-----|---------|---------|-----|-------|-----|-----|------|-----|-----|---------|------|-----|---------|---------|-----|----------|
|     | 現況      | 将来      | 増減  | 現況    | 将来  | 増減  | 現況   | 将来  | 増減  | 現況      | 将来   | 増減  | 現況      | 将来      | 増減  |          |
| 久留美 | 251.0   | 251.0   | 0.0 | —     | —   | —   | —    | —   | —   | 1.6     | 1.6  | 0.0 | 252.6   | 252.6   | 0.0 | 4.2      |
| 別所  | 442.5   | 442.5   | 0.0 | 0.8   | 0.8 | 0.0 | —    | —   | —   | 24.8    | 24.8 | 0.0 | 468.1   | 468.1   | 0.0 | 0.0      |
| 志染  | 517.6   | 517.6   | 0.0 | —     | —   | —   | —    | —   | —   | 1.8     | 1.8  | 0.0 | 519.4   | 519.4   | 0.0 | 0.0      |
| 口吉川 | 517.3   | 517.3   | 0.0 | —     | —   | —   | —    | —   | —   | 2.8     | 2.8  | 0.0 | 520.1   | 520.1   | 0.0 | 0.0      |
| 細川  | 529.5   | 529.5   | 0.0 | —     | —   | —   | —    | —   | —   | 2.3     | 2.3  | 0.0 | 531.8   | 531.8   | 0.0 | 2.9      |
| 吉川  | 1,008.8 | 1,008.8 | 0.0 | —     | —   | —   | —    | —   | —   | 0.1     | 0.1  | 0.0 | 1,008.9 | 1,008.9 | 0.0 | 67.2     |
| 計   | 3,266.7 | 3,266.7 | 0.0 | 0.8   | 0.8 | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 0.0 | 33.4    | 33.4 | 0.0 | 3,300.9 | 3,300.9 | 0.0 | 74.3     |

※三木地区は、久留美及び別所地区に含む

### 3 農業経営の現況

#### (1) 農家の規模と構成

令和2(2020)年現在の本市の販売農家1,818戸のうち、農業を主業とする農家は113戸(6.2%)にとどまる。また、世帯所得の多くが農外所得で、かつ農業に従事する65歳未満の世帯員がいない副業的農家が77.1%を占めており、農業への労働力が2次産業、3次産業へ移行する傾向にある。

農業振興と地域の発展を図るために、不安定な就業状態になる兼業従事者の安定就業の促進を強化するとともに、農業後継者の定着を図らなければならない。そのために、地場産業の振興を図り、既存産業との調整を取りながら、積極的な企業誘致を行い、農業就業人口の吸収を図るとともに、産官学連携を活かした新たな産業の創出、起業家の育成・支援により、兼業従事者の安定的な就業を促進し、中核的農家への農用地の集積を行うことにより、農業構造の改善を進める必要がある。

表3-1 主副業別・専兼別農家数

(単位:戸)

|       | 販売農家計  | 主副業別 |                |       |                |       | 専兼別   |       |      |       |
|-------|--------|------|----------------|-------|----------------|-------|-------|-------|------|-------|
|       |        | 主業   | 65歳未満の農業専従者が多い | 準主業   | 65歳未満の農業専従者が多い | 副業的   | 専業農家  | 兼業農家  | 第1種  | 第2種   |
|       |        |      |                |       |                |       |       |       |      |       |
| 平成22年 | 2,380  | 188  | 128            | 565   | 162            | 1,627 | 364   | 2,016 | 218  | 1,798 |
|       | 100.0% | 7.9% | 5.4%           | 23.7% | 6.8%           | 68.4% | 15.3% | 84.7% | 9.2% | 75.5% |
| 平成27年 | 2,087  | 158  | 99             | 436   | 92             | 1,493 | 388   | 1,699 | 178  | 1,521 |
|       | 100.0% | 7.6% | 4.7%           | 20.9% | 4.4%           | 71.5% | 18.6% | 81.4% | 8.5% | 72.9% |
| 令和2年  | 1,818  | 113  | 67             | 303   | 67             | 1,402 | —     | —     | —    | —     |
|       | 100.0% | 6.2% | 3.7%           | 16.7% | 3.7%           | 77.1% | —     | —     | —    | —     |

出所:農林業センサス

#### (2) 農業経営体の規模と構成

令和2(2020)年現在の本市の農業経営体数は、1,869体で、平成22年と比べて、家族経営体が560体ほど減少しているが、組織経営体は9体増えている。また、経営耕地面積規模別の内訳でも、小規模経営体が減少し、5.0ha以上の経営規模の組織が増えている。これからから、集落営農や農業組織の法人化への移行が進んでいることがうかがえる。

表3-2 経営体数の動向

(単位:経営体戸)

| 項目<br>年次     | 農業経営体数 |       |       | 経営耕地面積別内訳 |         |           |           |           |          |         |        |
|--------------|--------|-------|-------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|----------|---------|--------|
|              | 総経営体数  | 家族経営体 | 組織経営体 | 経営耕地なし    | 0.5ha未満 | 0.5~1.0ha | 1.0~3.0ha | 3.0~5.0ha | 5.0~10ha | 10~20ha | 20ha以上 |
| 平成22年        | 2,424  | 2,411 | 13    | 32        | 404     | 931       | 1,007     | 30        | 15       | 4       | 1      |
| 平成27年        | 2,145  | 2,125 | 20    | 35        | 347     | 806       | 902       | 25        | 19       | 10      | 1      |
| 令和2年<br>(現況) | 1,869  | 1,847 | 22    | 34        | 304     | 701       | 767       | 26        | 24       | 10      | 3      |

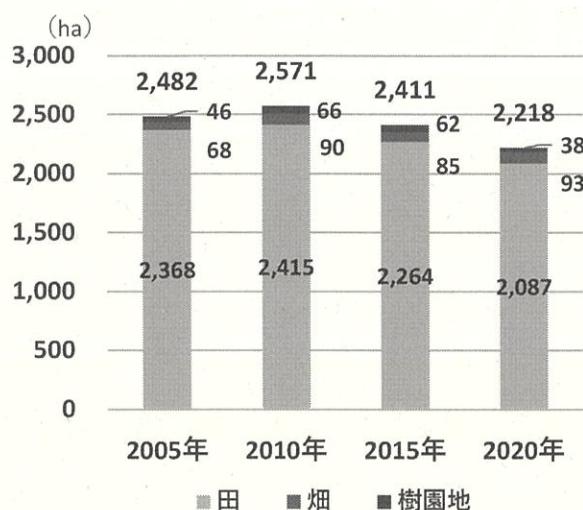
資料:農林業センサス(近畿農林水産統計年報)

### (3) 農業経営の現況と課題

令和2(2020)年現在の農業経営体の経営耕地面積は2,218haであり、5年前に比べ193ha(8%)減少している(図3-1参照)。

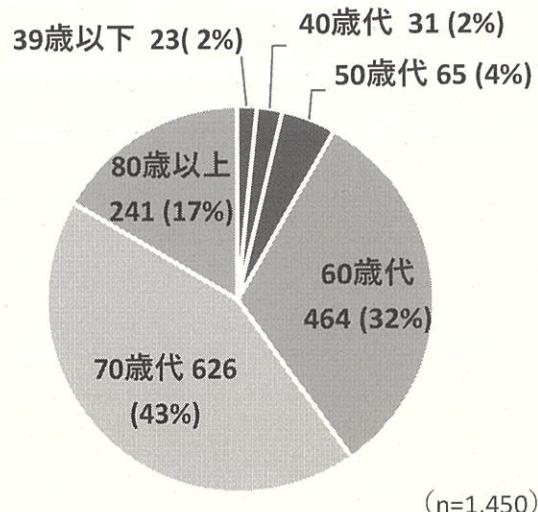
基幹的農業従事者の6割が70歳以上の高齢者であり、農業従事者の高齢化や後継者不足等を背景に、生産性の低い農地を中心に耕作放棄地が増加傾向にある(図3-2参照)。

図3-1 経営耕地面積の推移



出所:「農林業センサス」より作成

図3-2 年齢別基幹的農業従事者数(個人経営体)



出所:「2020年農林業センサス」より作成

農用地等の減少は、食料の安定供給に加え、国土の保全、自然環境、水源かん養、洪水等の災害防止など、農用地の持つ多面的機能の低下が懸念される。

このため、農道、用排水路の維持管理やため池等の整備を推進し、農作業の効率化と生産性の向上を図るとともに、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用して農地の保全に努める必要がある。

加えて、「地域計画」や農地中間管理事業による農地の利用調整に努め、農地の流動化と農作業の受委託を推進するなど、利用集積による農地の有効利用及び農作業の効率化を進め、営農組合や認定農業者等の担い手による規模拡大により、集団的優良農用地の保全に努める必要がある。

## 第2 三木市の有機農業について

### 1 三木市の状況

国の示す有機農業とは、化学肥料や化学合成農薬を使用しないこと並びに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷を出来る限り低減した農業生産方式と有機農業推進法の第2条に定義されています。

三木市においては、十数件の方が、有機農業に取り組まれているようですが、全部の実態は把握できておりません。

### 2 三木市の取組

三木市として、有機農業を目指す農業者を支援できるよう、また、農業者の繋がりを持てる場を提供するための取り組みを進めています。

- ① 令和5年3月15日 有機農業セミナーを開催。兵庫県立農林水産技術センターワークショップ次長 西村いつきさんを講師に「有機農業の推進について」講演いただき、また、イオンアグリ創造株式会社生産本部西日本担当部長 新井正枝さんを講師に「イオンアグリ創造株式会社の環境に配慮した持続的な農業への取組」について講演いただきました。このセミナーには市外から10名、市内から50名の60名の方が参加されました。
- ② 令和5年11月9日 市内の新規就農者・就農希望者を対象に、新たな販路を考える機会づくり等を目的に、イオンアグリ創造株式会社兵庫三木里脇農場で実地研修会を行いました。この研修会に新規就農者8名、就農希望者5名、合わせて13名が参加されました。

## 令和5年度 学校給食に関するアンケート（保護者用）結果報告書

令和6年2月2日  
三木市教育委員会  
教育総務部 教育施設課

### 1 調査目的

児童生徒の保護者より意見をいただき、三木市の給食のあり方を検討するため

### 2 調査方法

インターネットのアンケートフォームにより回答

### 3 調査対象

市立幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の園児、児童、生徒の保護者

### 4 調査期間

令和5年10月30日(月) ~ 11月13日(月)

### 5 対象者数、回答者数及び回答率

対象者数(家庭数) 4,050人

回答者数 1,207人

回答率 29.8%

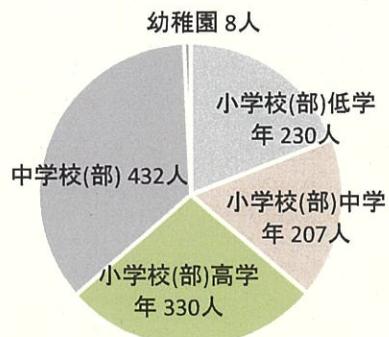
### 6 その他

お子様が2人以上おられる場合は、1番上のお子様のことについてご回答いただくようお願いしました。

### 7 アンケート結果

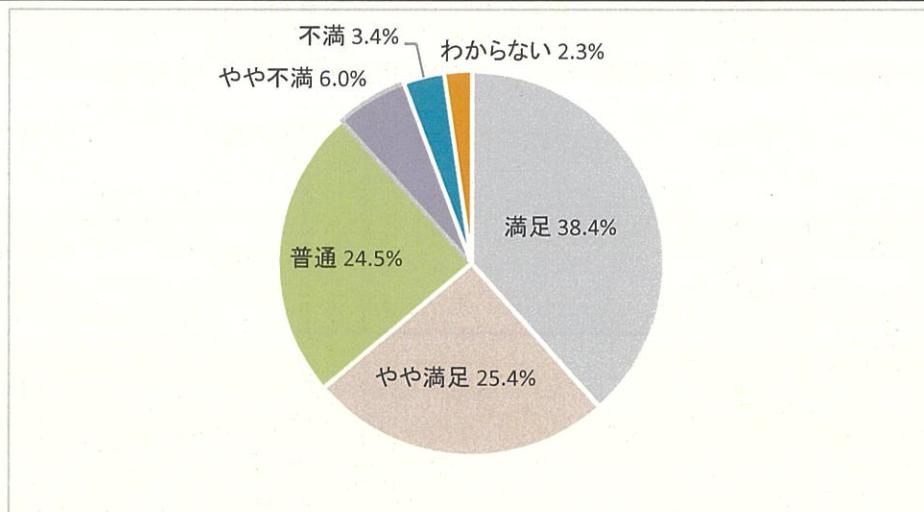
各質問に対する保護者の回答は、次のとおりです。

【質問1】お子様の在籍している学年を選んでください。  
複数いる場合は、上のお子様でお答えください。



【質問2】学校給食の献立について、満足されていますか。

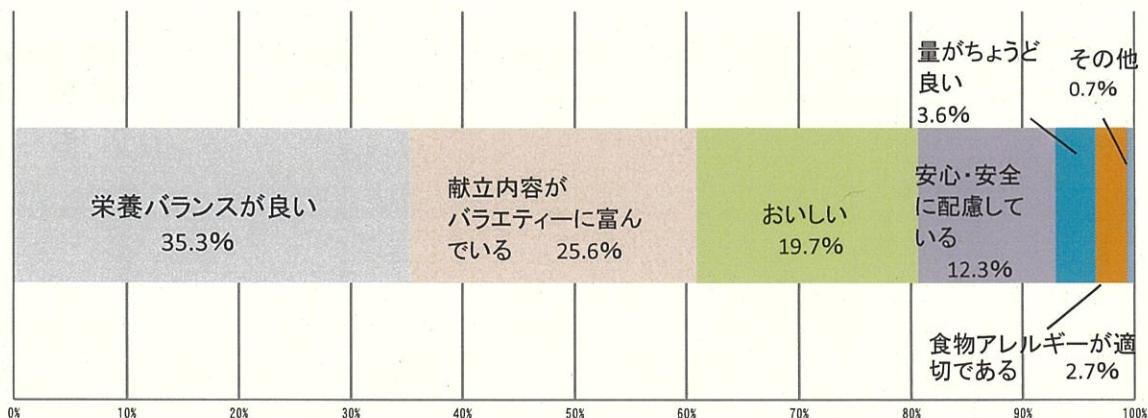
「満足」「やや満足」を合わせると約64%となっており、多くの方が献立に満足感を持っています。「不満」「やや不満」を合わせると約9%と不満を持つ方は少数にとどまり、約91%の方が不満を持っていないことがわかりました。



【質問3】学校給食に満足されていることは、どのようなことですか。(3つまで)

\* 「満足」「やや満足」と回答した769人に質問

「栄養バランスが良い」が最も多く、次に「献立内容がバラエティーに富んでいる」「おいしい」という理由が続きます。



(その他意見)

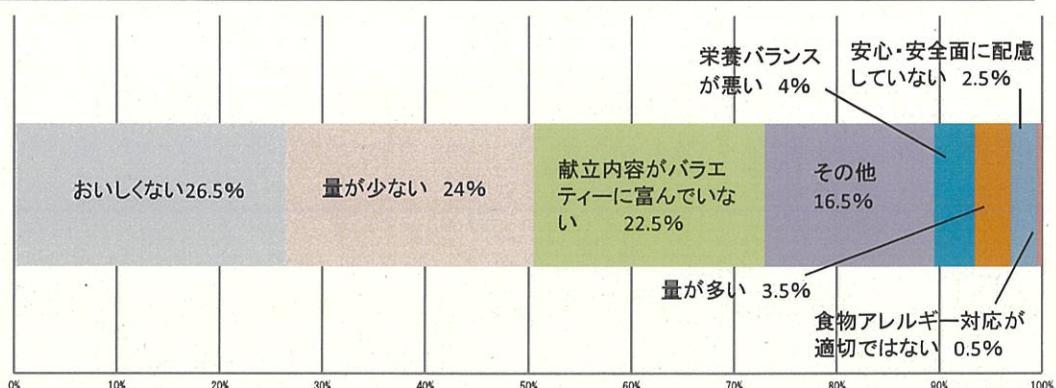
「家庭で作らないメニューがあり、ありがたい」「季節感がある」「学校で調理しているので温かいまま食べられる」「みんなと同じものを食べられる」等

【質問4】学校給食に不満があることは、どのようなことですか。(3つまで)

\*「やや不満」「不満」と回答した114人に質問

「おいしくない」が最も多く、「量が少ない」「献立内容がバラエティーに富んでいない」という理由が続きます。

今後も味の改善、新メニューの開発に努めてまいります。量は個人差があるため、クラスで個々に合った量になるよう配膳が必要です。

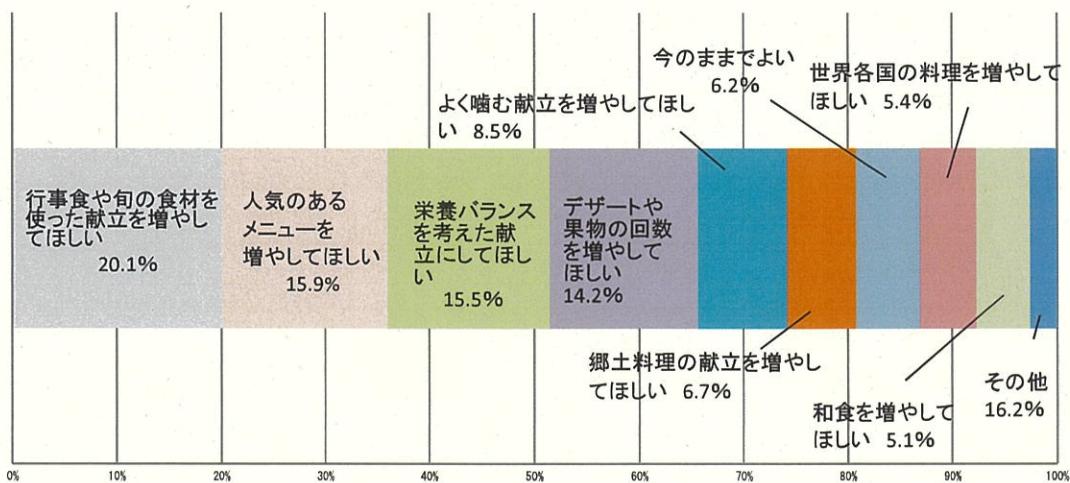


(その他意見)

「品数が少ない時がある」(3件) 「パンが大きすぎて食べきれない」「オーガニック給食の和食中心ではない点」(2件) 「給食の時間が短い」(2件) 「野菜率が高すぎる、子どもが喜ぶメニューが少なすぎる」「変なアレンジをしきている」等

【質問5】学校給食の献立について、希望はありますか。(3つまで)

「行事食や旬の食材を使った献立を増やしてほしい」「人気のあるメニューを増やしてほしい」「栄養バランスを考えた献立にしてほしい」という希望が続きます。

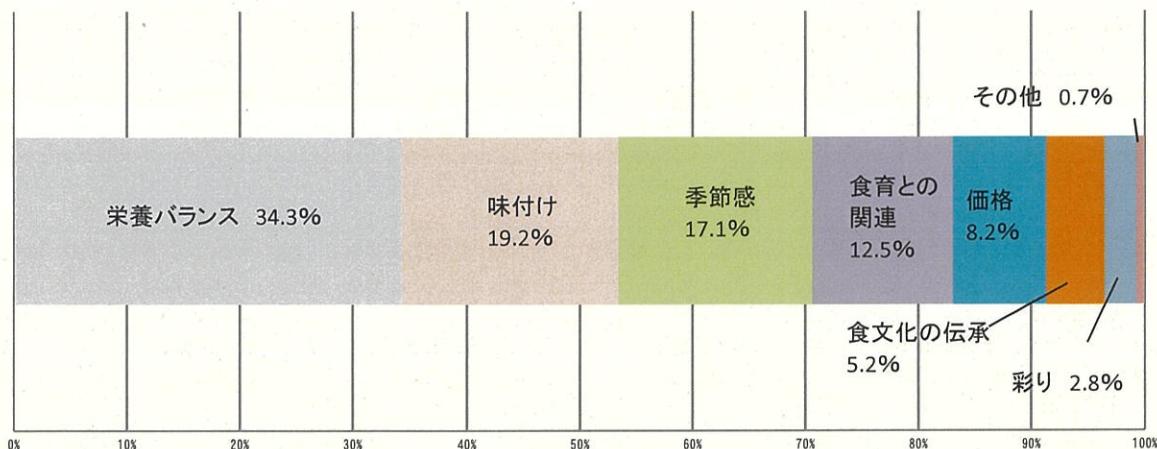


(その他意見)

「ごはんの時は牛乳ではなくお茶がいい」(3件) 「オーガニック食材を使用してほしい」(3件) 「ご飯の日を増やしてほしい」(3件) 「リクエスト給食の実施」「ホームページでレシピを公開してほしい」等

【質問6】学校給食の献立について、重要と考えることはどのようなことですか。（3つまで）

「栄養バランス」が最も多く、「味付け」「季節感」が続きます。

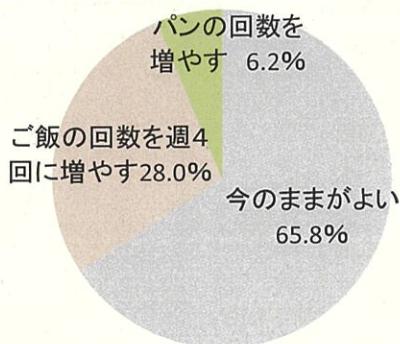


(その他意見)

「オーガニック食材の使用」（5件） 「楽しく嬉しく食べられる」（2件） 「食農の学び(農薬の体への影響、生ごみを肥料化する方法)」 「1汁3菜」等

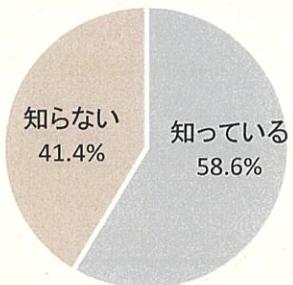
【質問7】主食の回数について、どう思われますか。（現行：週に米飯3.5回、パン1.5回）

米飯回数について「今ままがよい」という意見が66%と多く、次に「ご飯の回数を週4回に増やす」が28%となりました。このことから、米飯回数はこのままの回数でよいと考えます。



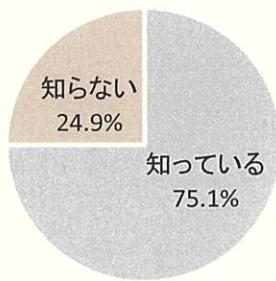
【質問8】米は全量、市内産を使用していることを知っていますか。

すべて市内産の米を使用していることを約59%の保護者が知っていることが分かりました。毎月、献立表に記載していますが、周知が不十分だと考え、今まで以上に多くの方に周知していくことが必要です。



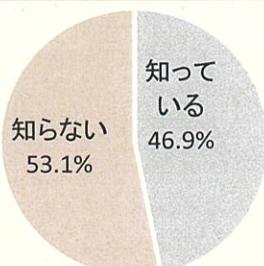
【質問9】学校給食では地産地消を推進していることから、できるだけ市内産の野菜を使用していることを知っていますか。

市内産の野菜を使用していることを約75%の多くの保護者が知っていることが分かりました。今後も三木産の野菜を使っていることを周知していくことが必要です。



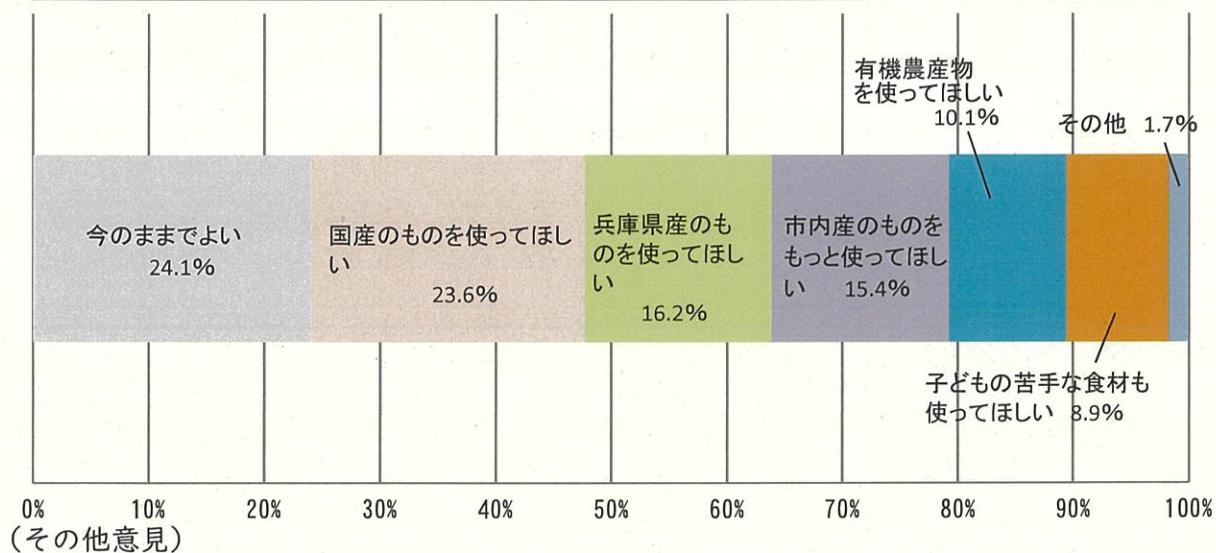
【質問10】市内産の食材が調達できない場合は、兵庫県産、次に国産の食材を使用していることを知っていますか。

調達する産地を兵庫県産、次に国産の食材を使用していることを半数以上の方が知らないと答えています。今後も、できる限り、県産、国産の食材を使用していることを周知していくことが必要です。



【質問11】学校給食の食材について、希望はありますか。(3つまで)

「今までよい」が最も多く、「国産のものを使ってほしい」「兵庫県産のものを使ってほしい」「市内産のものもっと使ってほしい」という希望が続きます。  
「有機農産物を使用してほしい」は、約10%の割合でした。

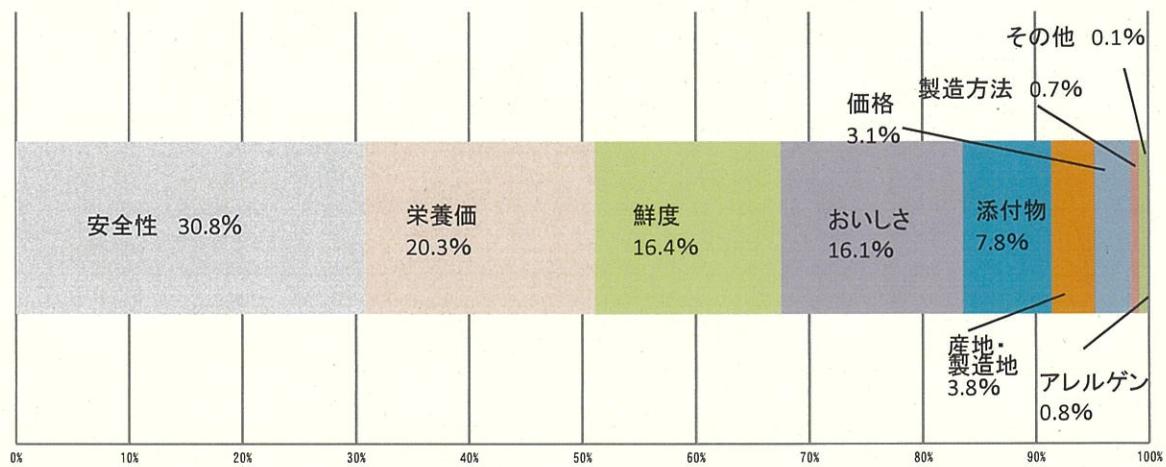


(その他意見)

「牛乳をなくしてほしい」(4件) 「無農薬、無添加の食材、調味料を使ってほしい」(2件) 「各地の特産品を使用し、地理に紐づけた食育をしてほしい」「店頭で販売できない食材も学びながら使ってほしい」「肉を増やしてほしい」「トリチウムやストロンチウム等の放射能検査されていないので、安全性の高い産地(海外)の食材を使用してほしい」等

【質問12】使用する食材について、重要と考えることはどのようなことですか。(3つまで)

「安全性」が最も多く、「栄養価」「鮮度」「おいしさ」と続きます。今後も、安全な給食と感じてもらえるよう、情報提供が必要です。



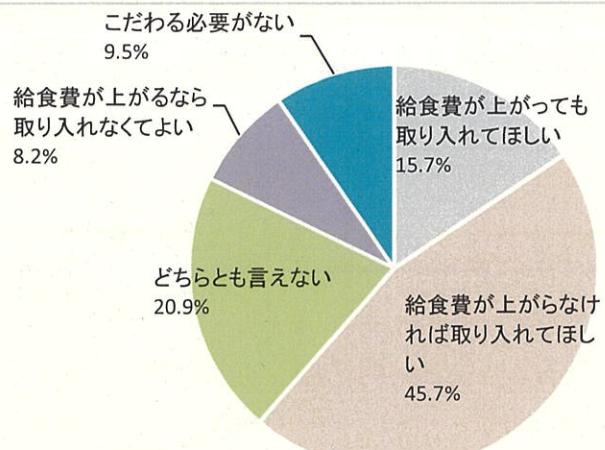
(その他意見)

「農薬、遺伝子組換え食品不使用、放射線育種米の不使用、昆虫食の不使用」「特に浸透性農薬に対する子どもの心身への影響が懸念されるため、可能な限り無農薬・無化学肥料で作った米・野菜を希望」

【質問13】今後、有機農産物\*を給食に取り入れた方がよいと思いますか。

\*有機農産物：化学肥料や化学合成農薬を使用せず栽培する等、有機JAS認証された農産物

「給食費が上がらなければ取り入れてほしい」という意見が約46%と多く、「どちらともいえない」「給食費が上がっても取り入れてほしい」と続きます。



【質問14】上記で回答した理由、ご意見がありましたらご記入ください。

○可能な限り有機農産物を希望(51件)

- ・小さい時から良いものを口にしてほしい
- ・体にいいと思うから
- ・子どもに安全なものを食べてほしい。給食で有機農産物を使うようになれば、有機農業が広がっていくと思い、期待している
- ・添加物や農薬などできるだけ使わない食事を食べさせたい
- ・市内産の有機農産物を使うなら取り入れても良いと思う
- ・肥料や農薬は体に害だと思うから
- ・給食費が上がるからできないのではなく、国や県にもっと負担をしてもらいたい

○現状で安全なので、今までよい(34件)

○給食費が上がることは避けたい(23件)

○質や量を良くして、おいしくしてほしい(21件)

○給食費を無償化にしてほしい(6件)

○有機農産物だからと言って安全だとは限らない(5件)

○加工品の添加物を少なくしてほしい(5件)

○家庭で有機農産物を使用しないのに、給食で少量取り入れて意味があると思わない(4件)

○有機農産物の信頼性、金額等を明確にする必要がある(2件)

○虫が多い、安定的でない等問題が多い(2件)

○野菜の残菜が多く、取り入れてももったいない(2件)

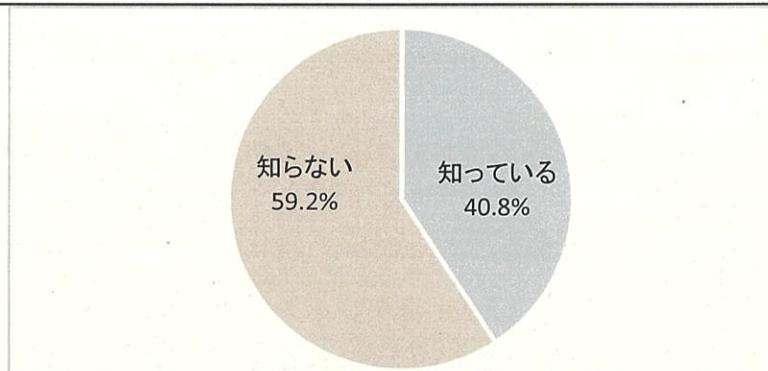
○安全性と価格のバランスを取ってほしい(2件)

○食材費や人件費の情報開示を分かりやすくしてほしい(2件)

○産地、特産品等について給食時に教えてほしい(1件)

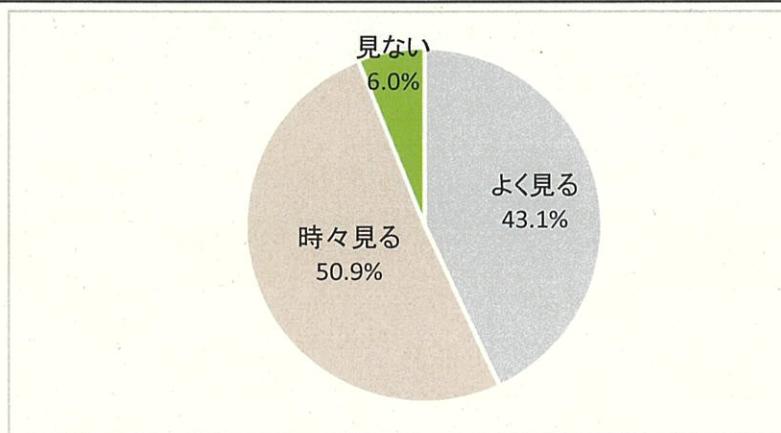
【質問15】保護者様にご負担いただいている給食費は、食材費のみであり、人件費や光熱費管理費等の運営費等は市が負担していることを知っていますか。

保護者の方が負担する給食費が、食材費のみであることを半数以上の方が知らないと答えています。学校給食の運営には、保護者の負担だけでなく、多くの市費(=税金)が投入されていることを知っていただき、給食費の納入についてご理解いただけるようさらに努めてまいります。



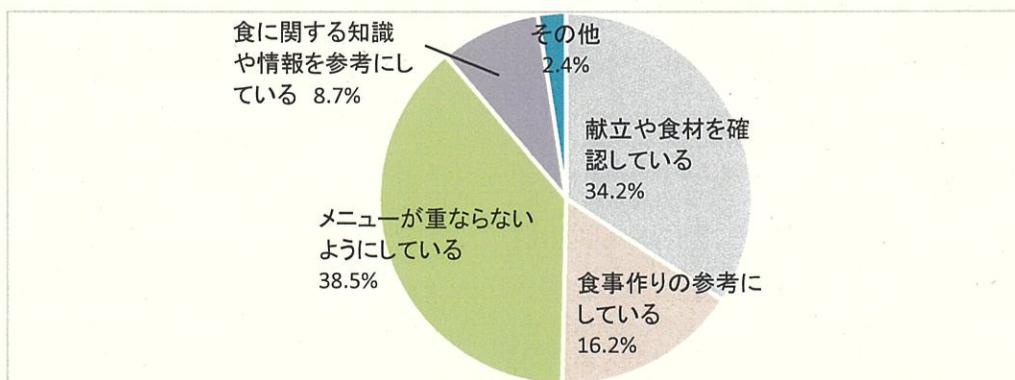
【質問16】毎月の献立表をご覧になりますか。

「よく見る」「時々見る」を合わせると94%となり、多くの方が献立表を見ていることが分かりました。



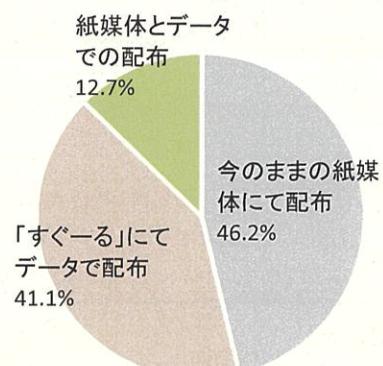
【質問17】献立表はどのように活用されていますか。(3つまで)

「メニューが重ならないようにしている」が最多く、「献立や食材を確認している」「食事作りの参考にしている」と続きます。



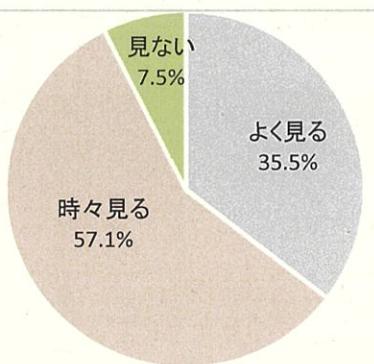
【質問18】現在、献立表は紙媒体により配布していますが、希望する媒体を選んでください

献立表を「今ままの紙媒体にて配布」が最も多く回答がありました。児童生徒が見ることを考えると、今後も現状のまま紙媒体にて配布します。



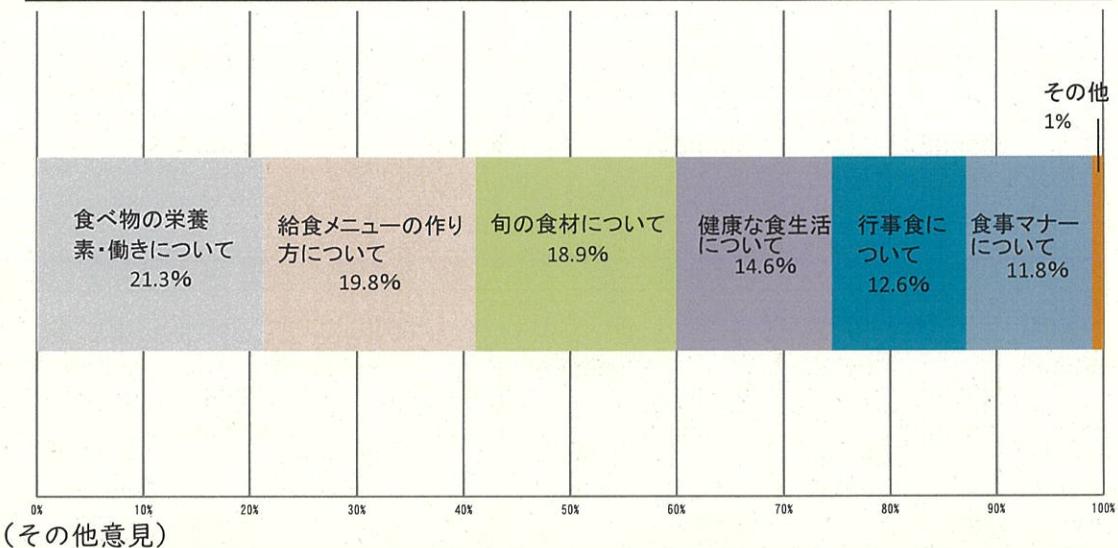
【質問19】毎月給食だよりを配信していますが、ご覧になりますか。

「よく見る」「時々見る」を合わせると約93%となり、多くの方が給食だよりを見ていることが分かりました。



【質問20】給食だよりで読んでみたいテーマは、どのようなことですか。（3つまで）

「食べ物の栄養素・働きについて」が最も多く、「給食メニューの作り方について」「旬の食材について」についてが続きます。食べ物の栄養素や働きについては、よく載せていく予定です。来年度からは、レシピのコーナーを取り入れることも検討します。

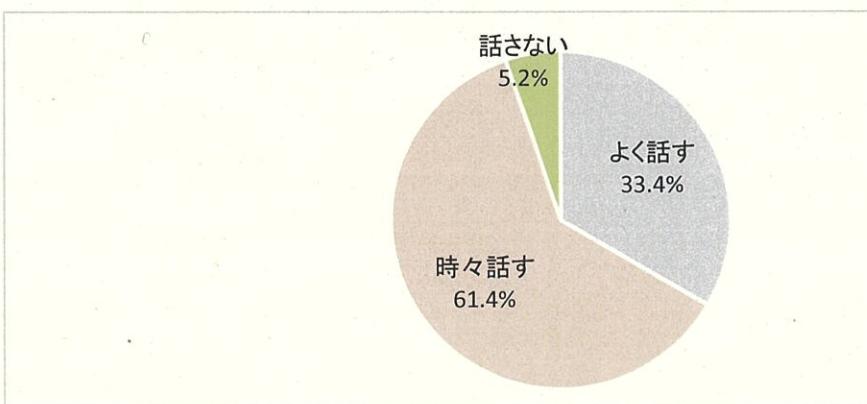


(その他意見)

「学校で食育をしているので、いらない」（2件） 「子供が読むために漫画を取り入れる」 「新メニュー、残菜が多いメニュー等の紹介」 「給食ができるまでの流れ」 「添加物の発がんリスク、発酵食品の良さ」 等

【質問21】お子様と給食の話をされますか。

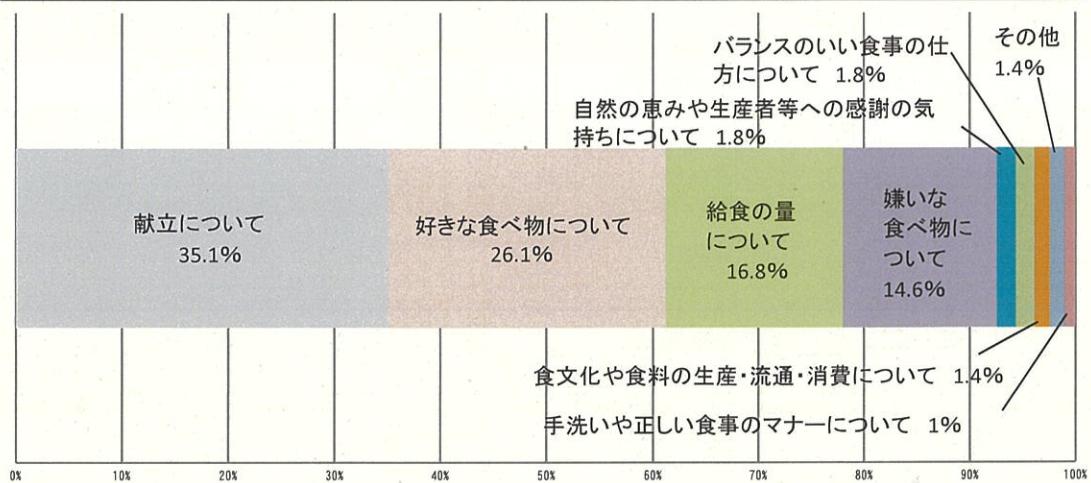
「よく話す」「時々話す」を合わせると約95%となっており、多くの方がお子様と給食の話をされていることが分かりました。



【質問22】どのようなことをお子様と話されますか。（3つまで）

\*「よく話す」「時々話す」と回答した1,144人に質問

「献立について」が最も多く、「好きな食べ物について」「給食の量について」についてが続きます。

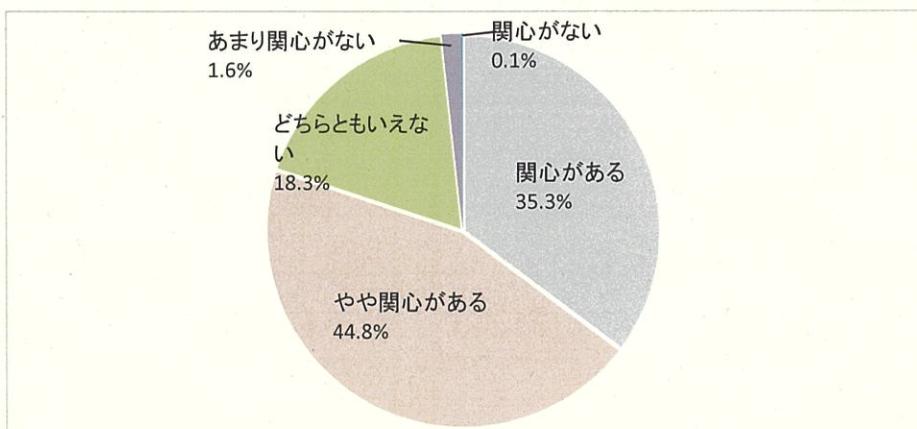


(その他意見)

「どのくらいの量を食べられたのか、残さず食べられたか」（6件）「給食がおいしかったので作ってほしい給食のリクエスト」（4件）「給食の時間が短すぎ、食べられなかった」（2件）「まずい」（2件）「給食の質が低下し、みんな残すようになった」等

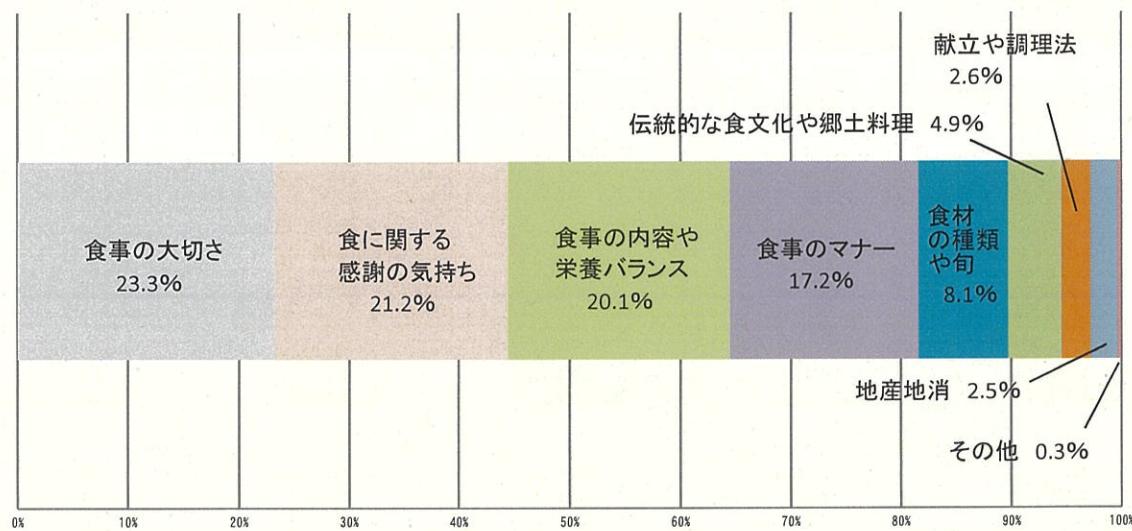
【質問23】食育について、関心がありますか。

「関心がある」「やや関心がある」を合わせると約80%となっており、多くの方が食育に関心があることが分かりました。



【質問24】食育を通してお子様に学んでほしいことは、どのようなことですか。（3つまで）

「食事の大切さ」が最も多く、「食に関する感謝の気持ち」「食事の内容や栄養バランス」についてが続きます。



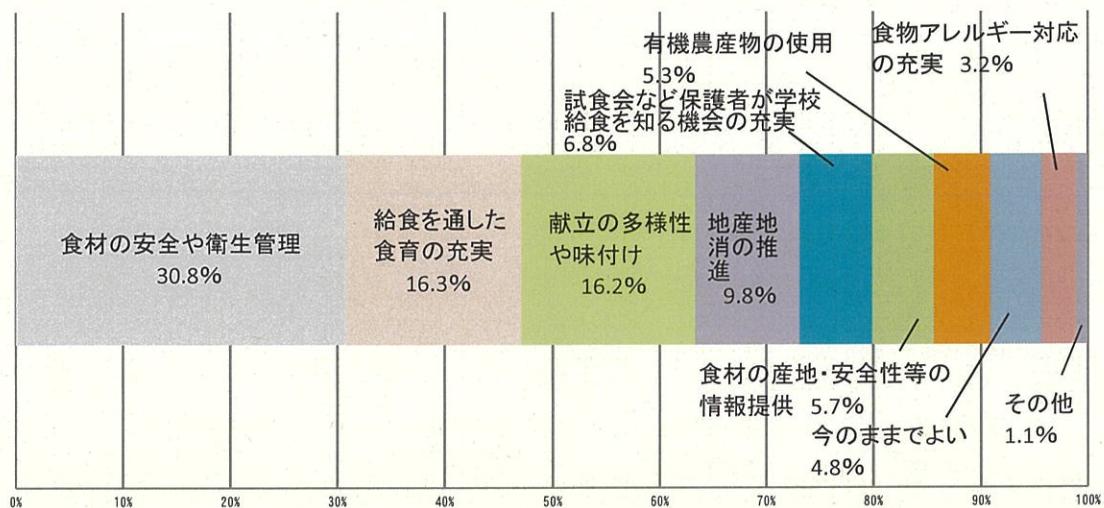
（その他意見）

「命をいただいていること」（2件） 「添加物・有機等色々知ったうえで自分で選ぶ力が必要なので学校でもやるべき」（2件） 「みんなで食べるおいしさ」等

【質問25】今後市や学校の取り組みの中で、特に力を入れてほしいことは、どのようなことですか。（3つまで）

「食材の安全や衛生管理」が最も多く、「給食を通した食育の充実」「献立の多様性や味付け」についてが続きます。

学校給食の基本は安全安心であり、食材の産地・加工地、配合、放射性物質検査の検査結果を公表していますが、より一層、安心していただけるよう取り組んでいくことが必要です。



（その他意見）

「残食対策」（4件）「給食費無償化」（2件）「給食の写真・レシピを知りたい」（2件）「エディブル教育（学校で作った農作物を給食で消費し、生ごみを肥料にする循環型学習）、食農の学び（農薬の体や環境への影響、生ごみを肥料化する方法）」（2件）「子どもが喜ぶ食べやすいメニューを増やす」「おかずの種類を増やす努力」「牛乳を希望制にする」「給食時間の確保」「添加物の使用を減らす」等

## 8 アンケート総括

学校給食の献立について、9割が不満を持っていないことから、概ね良い評価がいただけたと考えています。満足している理由、重要と考えることについて「栄養バランス」が最も多く、保護者が重視していることは、栄養教諭が献立作成時に重視していることと合致しており、満足していただいていると考えます。

学校給食の食材について、今までよいという意見が多く、今後も地産地消を促進し、国産のものを多く使用することが必要です。また、安全性が最も重視され、有機農産物を給食費が上がらなければ取り入れてほしいという意見が46%であり、子どもにより良いものを食べてほしいという意見が多くありました。今後、より安全・安心な食材について検討していく必要があります。

食育について約8割の保護者が関心があり、給食だよりを見たり、お子様と給食の話をする方が、9割以上の高い割合でした。今後も、給食だよりや献立表を多くの方に見ていただけるよう工夫をし、食育について親子で話すきっかけになるよう努めます。

今後、特に力を入れてほしいこととして「食材の安全や衛生管理」が約3割でした。三木市学校給食基本方針にもある「おいしく安全・安心な給食を提供する」を今後も徹底し、保護者の皆様に安心していただけるようおたよりやホームページで発信していきます。また、「給食を通した食育の充実」「献立の多様性や味付け」にも力を入れ、食育計画を実践できる生きた教材となる給食を提供するとともに、子どもたちが楽しみになるような給食になるよう努めることが必要です。

# 令和5年度学校給食に関するアンケート（児童生徒）結果報告書

令和6年2月1日  
三木市教育委員会  
教育総務部 教育施設課

## 1 アンケート実施概要

本アンケートは、児童生徒の学校給食に対する満足度等を調査し、その結果を今後の学校給食に活かすことを目的として、令和5年10月19日から11月2日までの間に実施した。

アンケートの実施概要は、次のとおりである。

### (1) アンケートの内容

別紙のとおり

### (2) アンケート実施対象

本アンケートは、三木市立全小学校の2年、4年、6年及び全中学校の1年、3年を対象とし、2学級の学年にあっては、1学級を抽出し、3学級以上の学年にあっては、2学級を抽出して実施した。

### (3) アンケート実施対象者数及び回収数等

アンケートの実施対象者数及び回収数、回収率は、次のとおりである。

|     |     | 実施対象者 | 回収数   | 回収率  | 備 考 |
|-----|-----|-------|-------|------|-----|
| 小学校 | 2年  | 330   | 315   | 95.5 |     |
|     | 4年  | 354   | 339   | 95.8 |     |
|     | 6年  | 362   | 337   | 93.1 |     |
|     | 小計  | 1,046 | 991   | 94.7 |     |
| 中学校 | 1年  | 334   | 287   | 85.9 |     |
|     | 3年  | 328   | 274   | 83.5 |     |
|     | 小計  | 662   | 561   | 84.7 |     |
|     | 合 計 | 1,708 | 1,552 | 90.9 |     |

### (4) アンケート回収数の男女別内訳

アンケート回収数の男女別内訳は、次のとおりである。

|     | 男   |     | 女    |     | 無回答  |     | 計   |       | 備 考   |
|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|-------|
|     | 人数  | 構成比 | 人数   | 構成比 | 人数   | 構成比 | 人数  | 構成比   |       |
| 小学校 | 2年  | 164 | 52.1 | 144 | 45.7 | 7   | 2.2 | 315   | 100.0 |
|     | 4年  | 154 | 45.4 | 181 | 53.4 | 4   | 1.2 | 339   | 100.0 |
|     | 6年  | 180 | 49.8 | 155 | 46.0 | 2   | 0.6 | 337   | 100.0 |
|     | 小計  | 498 | 50.3 | 480 | 48.4 | 13  | 1.3 | 991   | 100.0 |
| 中学校 | 1年  | 141 | 49.1 | 144 | 50.2 | 2   | 0.7 | 287   | 100.0 |
|     | 3年  | 129 | 47.1 | 140 | 51.1 | 5   | 1.8 | 274   | 100.0 |
|     | 小計  | 270 | 48.1 | 284 | 50.6 | 7   | 1.3 | 561   | 100.0 |
|     | 合 計 | 768 | 49.5 | 764 | 49.2 | 20  | 0.3 | 1,552 | 100.0 |

## 2 アンケート結果

### (1) 結果の概要

ア 昨年度調査と比較して、味についておかずの「おいしい」の割合は、昨年度より3.5%増加した。

イ 給食の量について、学校給食では、年齢に応じた量を提供しているが、男子は「少ない」と感じている割合が高い。教室での配膳時に、男女差・個人差などを考慮し、必要に応じて個別に適切な配食が必要と考える。

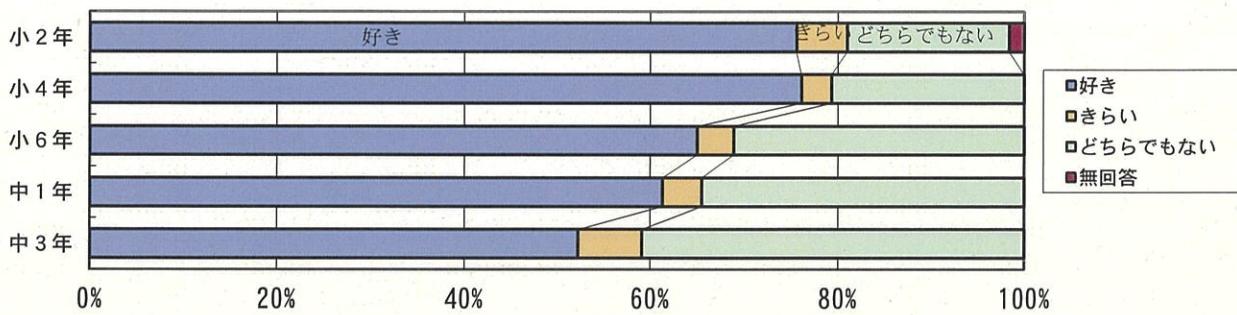
ウ 朝食の喫食割合は、昨年度調査と比較して、「毎日食べる」の割合が1.6%減少した。

また、「食べていない」の割合が、7.6%の実態がある。成長期に朝食を欠食することは、大きな影響を及ぼすので、引き続き朝食の重要性を家庭に啓発する必要がある。

エ 地産地消の取組を「知っている」の割合が、7.1%増加した。学校給食における地産地消の取組は、特産物についての理解や郷土愛を高める効果が期待されるので、引き続き多く取り入れ、児童生徒に伝えていく必要がある。

(2) 各質問に対する児童生徒の回答は、次のとおりである。

【質問1】給食は好きですか。



[学年別]

(単位：%)

|         | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     | 備考 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 好き      | 75.6  | 76.1  | 65.0  | 61.3  | 52.2  | 66.7  |    |
| きらい     | 5.4   | 3.2   | 3.9   | 4.2   | 6.9   | 4.6   |    |
| どちらでもない | 17.4  | 20.7  | 31.1  | 34.5  | 40.9  | 28.4  |    |
| 無回答     | 1.6   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.3   |    |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |    |
| 回答者数(人) | 315   | 339   | 337   | 287   | 274   | 1,552 |    |

[男女別]

(単位：%)

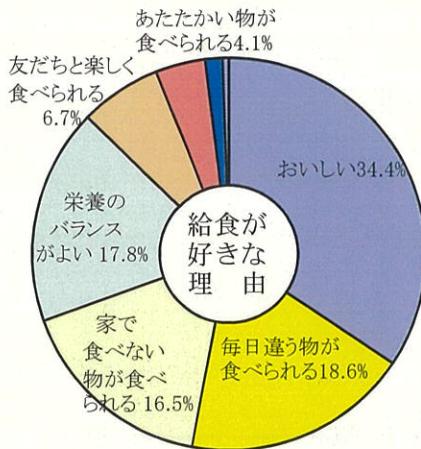
|         | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       | 備考 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
|         | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |    |
| 好き      | 76.7  | 67.3  | 63.3  | 51.4  | 78.1  | 61.4  |    |
| きらい     | 4.0   | 4.2   | 3.0   | 8.1   | 2.9   | 5.6   |    |
| どちらでもない | 18.9  | 27.9  | 33.7  | 40.5  | 18.8  | 32.6  |    |
| 無回答     | 0.4   | 0.6   | 0.0   | 0.0   | 0.2   | 0.4   |    |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |    |
| 回答者数(人) | 498   | 480   | 270   | 284   | 768   | 764   |    |

66.7%の児童生徒が「給食は好き」と答えている。これは、昨年度調査と比較して1.8%増加している。学年進行とともに「好き」の割合が減少し、「どちらでもない」の割合が増加する傾向が見られる。小2年と中3年の比較では、「好き」は、23.4%減少し、「どちらでもない」は23.5%増加している。

男女別の比較では、男子の方が給食に対して肯定的である。

【質問2】給食が好きな理由

(【質問1】で「好き」と答えた児童生徒が回答。)



〔学年別〕

(単位：%)

|               | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| おいしい          | 28.6  | 43.4  | 49.5  | 42.4  | 51.0  | 34.4  |
| 毎日違う物が食べられる   | 18.8  | 15.1  | 13.8  | 21.5  | 18.9  | 18.6  |
| 家で食べない物が食べられる | 14.1  | 17.1  | 10.1  | 7.3   | 8.4   | 16.5  |
| 栄養のバランスがよい    | 19.2  | 12.4  | 15.1  | 10.7  | 14.7  | 17.8  |
| 友達と楽しく食べられる   | 12.4  | 11.6  | 11.5  | 12.4  | 5.6   | 6.7   |
| あたたかい物が食べられる  | 2.6   | 0.4   | 0.0   | 2.3   | 1.4   | 4.1   |
| その他           | 3.0   | 0.0   | 0.0   | 3.4   | 0.0   | 1.4   |
| 無回答           | 1.3   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.5   |
| 計             | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数           | 234   | 251   | 218   | 177   | 143   | 1,023 |

〔男女別〕

(単位：%)

|               | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|               | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| おいしい          | 43.7  | 36.1  | 45.6  | 46.6  | 44.3  | 39.4  |
| 毎日違う物が食べられる   | 17.0  | 14.4  | 21.1  | 19.9  | 18.2  | 16.1  |
| 家で食べない物が食べられる | 10.5  | 17.2  | 8.2   | 7.5   | 9.8   | 14.1  |
| 栄養のバランスがよい    | 13.9  | 16.9  | 13.5  | 11.6  | 13.7  | 15.3  |
| 友だちと楽しく食べられる  | 11.3  | 12.5  | 7.6   | 11.6  | 10.1  | 12.3  |
| あたたかい物が食べられる  | 0.8   | 1.3   | 2.3   | 1.4   | 1.3   | 1.3   |
| その他           | 2.3   | 1.3   | 1.7   | 1.4   | 2.2   | 1.3   |
| 無回答           | 0.5   | 0.3   | 0.0   | 0.0   | 0.4   | 0.2   |
| 計             | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数           | 652   | 650   | 321   | 274   | 973   | 924   |

給食が好きな理由では、「おいしい」が最も多く、以下、「毎日違う物が食べられる」、「栄養のバランスがよい」、「家で食べたことない物が食べられる」の順である。

男女別に比較すると、どの理由であっても、大きな差はない。

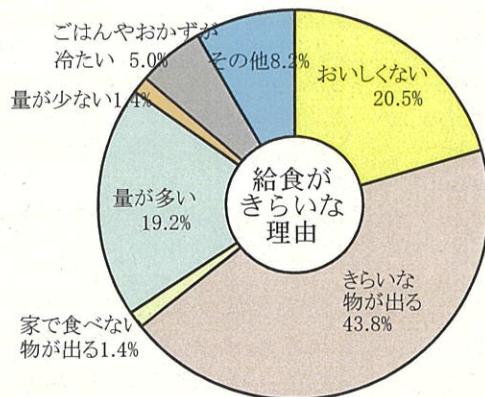
「その他」を選択した児童生徒の主な記述内容

〔小学校〕好きな分だけ食べられる、嫌いなものも食べれそうになるから、安全なものを食べられる等

〔中学校〕おいしいし、疲れた後に食べたら元気がでる、全てが良い、肉がおいしい等

【質問3】給食がきらいな理由

(【質問1】で「きらい」と答えた児童生徒が回答。)



〔学年別〕

(単位：%)

|             | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| おいしい        | 5.5   | 18.2  | 15.4  | 33.3  | 31.6  | 20.5  |
| きらいな物が出る    | 66.7  | 54.5  | 30.8  | 33.3  | 31.6  | 43.8  |
| 家で食べないものが出る | 0.0   | 9.1   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 1.4   |
| 量が多い        | 22.2  | 0.0   | 30.8  | 16.7  | 21.1  | 19.2  |
| 量が少ない       | 5.6   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 1.4   |
| 味付けが濃い      | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 味付けが薄い      | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 油っぽい        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| ごはんやおかずが冷たい | 0.0   | 9.1   | 15.4  | 0.0   | 5.3   | 5.5   |
| その他         | 0.0   | 9.1   | 7.6   | 16.7  | 10.4  | 8.2   |
| 無回答         | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 計           | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数         | 18    | 11    | 13    | 12    | 19    | 73    |

〔男女別〕

(単位：%)

|             | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| おいしい        | 20.0  | 4.8   | 62.5  | 21.7  | 32.1  | 13.7  |
| きらいな物が出る    | 55.0  | 52.4  | 25.0  | 34.8  | 46.4  | 43.2  |
| 家で食べないものが出る | 0.0   | 4.8   | 0.0   | 4.4   | 0.0   | 4.5   |
| 量が多い        | 10.0  | 28.6  | 0.0   | 26.1  | 7.1   | 27.3  |
| 量が少ない       | 0.0   | 4.7   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 2.3   |
| 味付けが濃い      | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 味付けが薄い      | 5.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 3.6   | 0.0   |
| 油っぽい        | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| ごはんやおかずが冷たい | 5.0   | 4.7   | 0.0   | 4.3   | 3.6   | 4.5   |
| その他         | 5.0   | 0.0   | 12.5  | 8.7   | 7.2   | 4.5   |
| 無回答         | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 計           | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数         | 20    | 21    | 8     | 23    | 28    | 44    |

給食がきらいな理由では、「きらいな物が出る」が多く、「おいしくない」、「量が多い」と続く。学年別で見ると、低学年では、「きらいな物が出る」が多い。中学生になんでも割合はやや増加し、「おいしくない」も増加している。

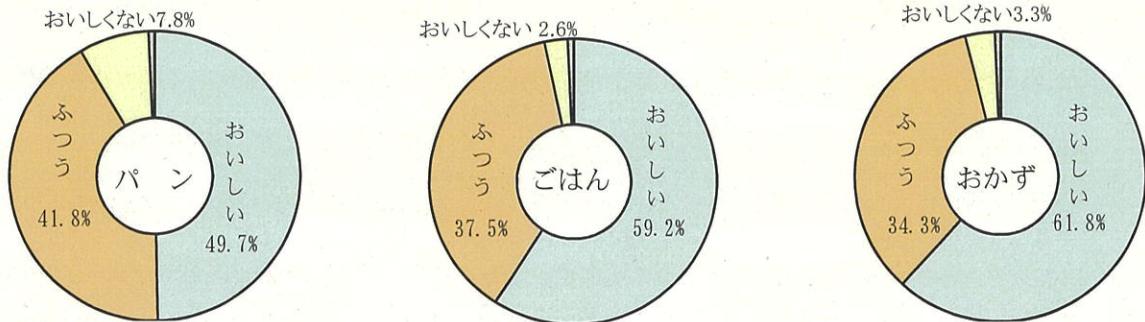
男女別では、男子は「おいしくない」の割合が高い。女子は「量が多い」が多く、男子と比較すると20.2%多い。

「その他」を選択した児童生徒の主な記述内容

[小学校] 食べて気持ち悪くなったり、調味料を持参できないから

[中学校] 給食そのものが嫌い、野菜が多い、味に慣れない

【質問4】給食の味について



[学年別]

(単位 : %)

|         |        | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| パン      | おいしい   | 70.5  | 59.6  | 46.3  | 39.0  | 29.2  | 49.7  |
|         | ふつう    | 23.2  | 36.6  | 46.6  | 52.6  | 52.2  | 41.8  |
|         | おいしくない | 2.9   | 3.8   | 7.1   | 8.4   | 18.6  | 7.8   |
|         | 無回答    | 3.4   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.7   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ごはん     | おいしい   | 61.6  | 69.3  | 59.6  | 54.4  | 48.5  | 59.2  |
|         | ふつう    | 32.4  | 28.9  | 37.4  | 42.8  | 48.5  | 37.5  |
|         | おいしくない | 2.5   | 1.8   | 3.0   | 2.8   | 3.0   | 2.6   |
|         | 無回答    | 3.5   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.7   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| おかず     | おいしい   | 56.2  | 73.5  | 67.4  | 55.7  | 53.3  | 61.8  |
|         | ふつう    | 38.4  | 24.5  | 29.1  | 40.8  | 41.2  | 34.3  |
|         | おいしくない | 2.2   | 2.0   | 3.5   | 3.5   | 5.5   | 3.3   |
|         | 無回答    | 3.2   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.6   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) |        | 315   | 339   | 337   | 287   | 274   | 1,552 |

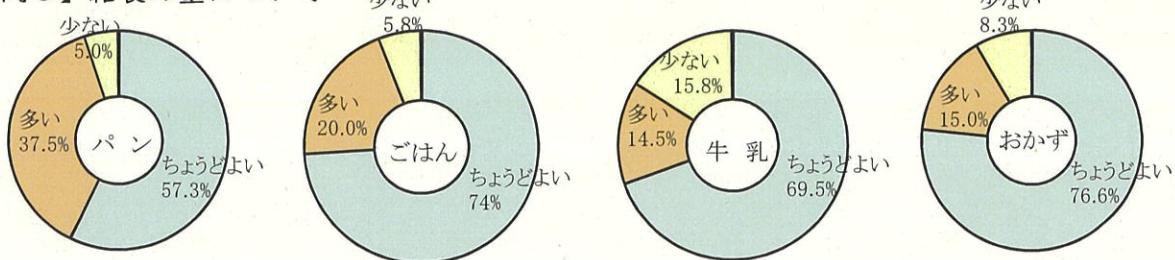
[男女別]

(単位 : %)

|         |        | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         |        | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| パン      | おいしい   | 55.2  | 61.9  | 34.1  | 34.9  | 47.8  | 51.8  |
|         | ふつう    | 37.6  | 33.7  | 50.0  | 54.2  | 41.9  | 41.4  |
|         | おいしくない | 5.2   | 4.2   | 15.9  | 10.9  | 9.0   | 6.7   |
|         | 無回答    | 2.0   | 0.2   | 0.0   | 0.0   | 1.3   | 0.1   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ごはん     | おいしい   | 67.1  | 60.0  | 53.7  | 49.6  | 62.4  | 56.2  |
|         | ふつう    | 28.3  | 37.7  | 44.4  | 46.5  | 34.0  | 41.0  |
|         | おいしくない | 2.6   | 2.1   | 1.9   | 3.9   | 2.3   | 2.7   |
|         | 無回答    | 2.0   | 0.2   | 0.0   | 0.0   | 1.3   | 0.1   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| おかず     | おいしい   | 66.7  | 64.8  | 57.4  | 52.5  | 63.4  | 60.2  |
|         | ふつう    | 29.1  | 32.3  | 37.0  | 44.0  | 31.9  | 36.6  |
|         | おいしくない | 2.6   | 2.5   | 5.6   | 3.5   | 3.7   | 2.9   |
|         | 無回答    | 1.6   | 0.4   | 0.0   | 0.0   | 1.0   | 0.3   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) |        | 498   | 480   | 270   | 284   | 768   | 764   |

91%以上の児童生徒が「おいしい」又は「ふつう」と答えており、給食の味については、ある程度満足していると判断できる。昨年度と比較すると、「おいしくない」の割合が減少している。学年の進行とともに「おいしい」の割合が減少し、「ふつう」「おいしくない」の割合が増加する傾向がある。

【質問5】給食の量について



[学年別]

(単位：%)

|         | 小2年    | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| パン      | ちょうどよい | 64.4  | 56.1  | 58.8  | 53.3  | 53.3  |
|         | 多い     | 25.4  | 40.1  | 34.4  | 43.9  | 45.3  |
|         | 少ない    | 9.2   | 3.8   | 6.8   | 2.8   | 1.4   |
|         | 無回答    | 1.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.2   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ごはん     | ちょうどよい | 63.5  | 77.3  | 72.7  | 81.5  | 75.6  |
|         | 多い     | 29.2  | 20.6  | 22.8  | 10.1  | 15.3  |
|         | 少ない    | 6.0   | 2.1   | 4.5   | 8.4   | 9.1   |
|         | 無回答    | 1.3   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.2   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 牛乳      | ちょうどよい | 62.9  | 73.1  | 68.8  | 71.8  | 70.8  |
|         | 多い     | 19.0  | 13.6  | 10.7  | 13.6  | 16.1  |
|         | 少ない    | 17.1  | 13.3  | 20.5  | 14.6  | 13.1  |
|         | 無回答    | 1.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.2   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| おかず     | ちょうどよい | 66.7  | 83.2  | 76.0  | 81.5  | 75.6  |
|         | 多い     | 23.8  | 11.5  | 13.9  | 10.1  | 15.3  |
|         | 少ない    | 8.9   | 5.3   | 10.1  | 8.4   | 9.1   |
|         | 無回答    | 0.6   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.1   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) |        | 315   | 339   | 337   | 287   | 274   |
|         |        |       |       |       |       |       |
|         |        |       |       |       |       |       |

[男女別]

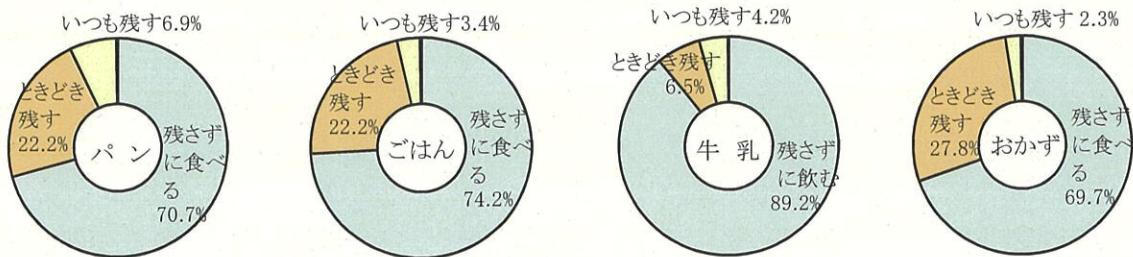
(単位：%)

|         | 小学校    |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 男      | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| パン      | ちょうどよい | 62.0  | 57.1  | 66.7  | 40.8  | 63.7  |
|         | 多い     | 28.3  | 39.1  | 30.7  | 57.4  | 29.1  |
|         | 少ない    | 9.1   | 3.8   | 2.6   | 1.8   | 6.8   |
|         | 無回答    | 0.6   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ごはん     | ちょうどよい | 74.1  | 68.7  | 77.4  | 58.8  | 75.3  |
|         | 多い     | 19.1  | 29.2  | 17.8  | 40.8  | 18.6  |
|         | 少ない    | 6.0   | 2.1   | 4.8   | 0.4   | 5.6   |
|         | 無回答    | 0.8   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 牛乳      | ちょうどよい | 64.9  | 72.7  | 71.5  | 71.9  | 67.2  |
|         | 多い     | 11.8  | 16.9  | 6.3   | 22.5  | 9.9   |
|         | 少ない    | 22.7  | 10.4  | 22.2  | 5.6   | 22.5  |
|         | 無回答    | 0.6   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.4   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| おかず     | ちょうどよい | 74.5  | 76.6  | 79.6  | 77.8  | 76.3  |
|         | 多い     | 13.7  | 19.0  | 7.8   | 17.3  | 11.6  |
|         | 少ない    | 11.4  | 4.4   | 12.6  | 4.9   | 11.8  |
|         | 無回答    | 0.4   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.3   |
| 計       |        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) |        | 498   | 480   | 270   | 284   | 764   |

全体的には、57%以上の児童生徒が「ちょうどよい」と答えており、概ね適正な供給量であると考えられる。「多い」、「少ない」という回答を比較すると、主食、おかずにおいて「多い」の割合が高くなっている。

男女別では、女子は、相対的に「多い」という回答が多い。中学校女子は、パンで57.4%が「多い」と回答している。中学校男子は、特に牛乳が「少ない」という回答が多い。

【質問6】給食の食べ残しについて



[学年別]

(単位 : %)

|          | 小2年     | 小4年  | 小6年  | 中1年  | 中3年  | 計    |
|----------|---------|------|------|------|------|------|
| パン       | 残さずに食べる | 71.7 | 67.3 | 79.5 | 62.0 | 71.9 |
|          | ときどき残す  | 24.8 | 27.4 | 15.7 | 28.6 | 13.9 |
|          | いつも残す   | 2.5  | 5.3  | 4.8  | 9.4  | 14.2 |
|          | 無回答     | 1.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.2  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| ごはん      | 残さずに食べる | 64.1 | 72.9 | 84.6 | 71.4 | 77.4 |
|          | ときどき残す  | 32.4 | 24.8 | 13.4 | 23.0 | 17.5 |
|          | いつも残す   | 2.2  | 2.3  | 2.0  | 5.6  | 5.1  |
|          | 無回答     | 1.3  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.2  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| 牛乳       | 残さずに飲む  | 86.7 | 90.0 | 94.7 | 88.9 | 85.0 |
|          | ときどき残す  | 9.8  | 6.8  | 4.1  | 6.2  | 5.1  |
|          | いつも残す   | 2.9  | 3.2  | 1.2  | 4.9  | 9.9  |
|          | 無回答     | 0.6  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.1  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| おかず      | 残さずに食べる | 57.5 | 69.9 | 78.0 | 67.3 | 75.5 |
|          | ときどき残す  | 37.5 | 27.4 | 20.8 | 29.6 | 24.1 |
|          | いつも残す   | 4.1  | 2.7  | 1.2  | 3.1  | 0.4  |
|          | 無回答     | 0.9  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.2  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| 回答者数 (人) |         | 315  | 339  | 337  | 287  | 274  |
|          |         |      |      |      |      |      |
| 1,552    |         |      |      |      |      |      |

[男女別]

(単位 : %)

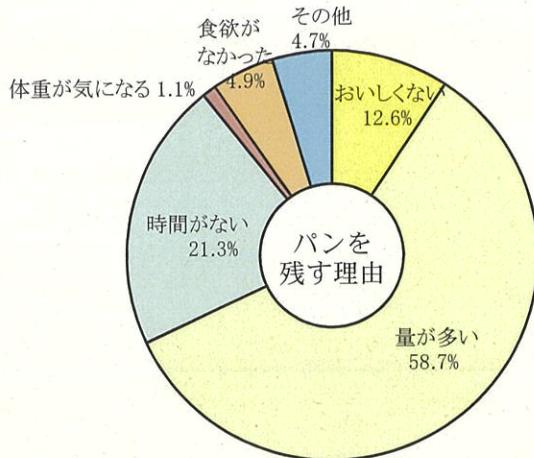
|          | 小学校     |      | 中学校  |      | 計    |      |
|----------|---------|------|------|------|------|------|
|          | 男       | 女    | 男    | 女    | 男    | 女    |
| パン       | 残さずに食べる | 78.3 | 69.0 | 80.7 | 53.5 | 79.1 |
|          | ときどき残す  | 18.4 | 25.4 | 13.7 | 28.5 | 16.9 |
|          | いつも残す   | 2.9  | 5.6  | 5.6  | 18.0 | 3.8  |
|          | 無回答     | 0.4  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.2  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| ごはん      | 残さずに食べる | 82.0 | 68.1 | 87.8 | 61.6 | 83.9 |
|          | ときどき残す  | 15.5 | 29.4 | 10.4 | 29.6 | 13.8 |
|          | いつも残す   | 1.8  | 2.5  | 1.8  | 8.8  | 1.8  |
|          | 無回答     | 0.7  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.5  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| 牛乳       | 残さずに飲む  | 93.1 | 89.0 | 93.4 | 81.0 | 93.1 |
|          | ときどき残す  | 4.2  | 8.7  | 3.3  | 7.7  | 3.9  |
|          | いつも残す   | 2.2  | 2.3  | 3.3  | 11.3 | 2.6  |
|          | 無回答     | 0.5  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.4  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| おかず      | 残さずに食べる | 74.3 | 64.4 | 82.6 | 60.6 | 77.0 |
|          | ときどき残す  | 22.8 | 32.9 | 16.7 | 36.6 | 20.8 |
|          | いつも残す   | 2.4  | 2.7  | 0.7  | 2.8  | 1.8  |
|          | 無回答     | 0.5  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.4  |
| 計        |         |      |      |      |      |      |
| 回答者数 (人) |         | 548  | 480  | 270  | 284  | 818  |
|          |         |      |      |      |      |      |
| 764      |         |      |      |      |      |      |

「残さずに飲む」と回答した割合が、昨年と比較して牛乳が約5%増加している。おかずは、「ときどき残す」の割合が高く、苦手な献立の時には食べ残しをする児童生徒が多いという実態がうかがえる。男女別に見ると、「残さずに食べる」は、男子が女子より7~18ポイント高い。特に、中学校女子は、給食を残す割合が高くなっている。【質問5】給食の量に整合する結果となっている。

【質問7】給食を残す理由

\*小学校2年生は「おかず」の理由のみ回答

(【質問6】でパンを「ときどき残す」「いつも残す」と答えた児童生徒が回答。)



[学年別]

(単位：%)

|         | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| おいしくない  | 4.5   | 11.6  | 5.5   | 19.5  | 9.3   |
| 油っぽい    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 量が多い    | 64.0  | 60.9  | 54.1  | 55.8  | 58.7  |
| 時間がない   | 17.1  | 11.6  | 33.0  | 19.5  | 21.3  |
| 体重が気になる | 1.8   | 1.5   | 0.9   | 0.0   | 1.1   |
| 食欲がなかった | 4.5   | 7.2   | 4.6   | 3.9   | 4.9   |
| その他     | 8.1   | 7.2   | 1.9   | 1.3   | 4.7   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数     | 103   | 79    | 109   | 77    | 368   |

[男女別]

(単位：%)

|         | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| おいしくない  | 11.0  | 4.8   | 23.1  | 6.8   | 16.0  | 5.9   |
| 油っぽい    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 量が多い    | 61.6  | 66.3  | 40.4  | 59.8  | 52.8  | 62.7  |
| 時間がない   | 17.8  | 13.5  | 30.8  | 26.5  | 23.2  | 20.8  |
| 体重が気になる | 1.4   | 1.9   | 0.0   | 0.8   | 0.8   | 1.2   |
| 食欲がなかった | 4.1   | 4.8   | 3.8   | 4.5   | 4.0   | 4.7   |
| その他     | 4.1   | 8.7   | 1.9   | 1.6   | 3.2   | 4.7   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数     | 73    | 104   | 52    | 132   | 125   | 236   |

パンを残す理由は、「量が多い」「時間がない」の順で、各学年に共通している。

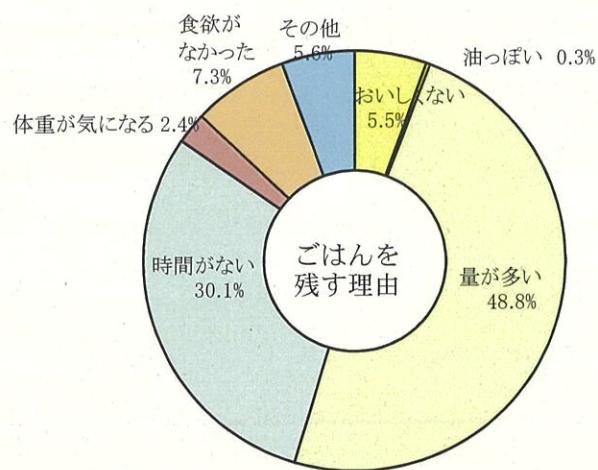
男女別に比較すると、女子の方が「量が多い」の割合が高い。また、男子の「おいしくない」の割合が高い。

「その他」を選択した児童生徒の主な記述内容

[小学校] おなかいっぱいになるから。気持ち悪くなるから。味がない。など

[中学校] パンが嫌い。量が多いし太るから。など

(【質問6】でごはんを「ときどき残す」「いつも残す」と答えた児童生徒が回答。)



[学年別]

(単位：%)

|         | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| おいしくない  | 5.4   | 3.8   | 3.7   | 9.7   | 5.5   |
| 油っぽい    | 0.0   | 1.9   | 0.0   | 0.0   | 0.3   |
| 量が多い    | 48.9  | 50.9  | 43.9  | 53.2  | 48.8  |
| 時間がない   | 26.1  | 24.5  | 41.5  | 25.8  | 30.1  |
| 体重が気になる | 1.1   | 5.7   | 2.4   | 1.6   | 2.4   |
| 食欲がなかった | 8.7   | 9.4   | 4.9   | 6.5   | 7.3   |
| その他     | 9.8   | 3.8   | 3.6   | 3.2   | 5.6   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数     | 92    | 53    | 64    | 46    | 267   |

[男女別]

(単位：%)

|         | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| おいしくない  | 3.8   | 5.6   | 6.1   | 6.4   | 4.7   | 6.1   |
| 油っぽい    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 量が多い    | 51.9  | 49.4  | 36.4  | 50.5  | 45.9  | 50.0  |
| 時間がない   | 32.8  | 22.5  | 36.4  | 34.9  | 34.1  | 29.3  |
| 体重が気になる | 1.9   | 3.4   | 0.0   | 2.8   | 1.2   | 3.0   |
| 食欲がなかった | 5.8   | 10.1  | 12.1  | 3.7   | 8.2   | 6.6   |
| その他     | 3.8   | 9.0   | 9.0   | 1.7   | 5.9   | 5.0   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数     | 52    | 89    | 33    | 109   | 85    | 198   |

ご飯を残す理由は、「量が多い」「時間がない」の順である。これは、各学年に共通している理由であるが、特に中学校1年生が「時間がない」の割合が高くなる。

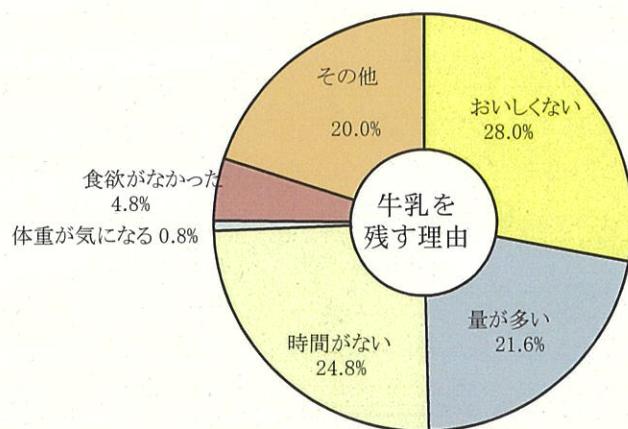
男女別に比較すると、男女とも、「量が多い」、「時間がない」の順で割合が高い。

「その他」を選択した児童生徒の主な記述内容は、次のとおりである。

[小学校] 苦手な混ぜご飯ができるから。量が多いしおいしくない。など

[中学校] ご飯とおかずが合わない。量が多いし、ねちねちしている。水分の量が多い。など

(【質問6】で牛乳を「ときどき残す」「いつも残す」と答えた児童生徒が回答。)



[学年別]

(単位: %)

|         | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| おいしくない  | 20.6  | 11.1  | 40.6  | 31.7  | 28.0  |
| 量が多い    | 29.4  | 16.7  | 15.6  | 22.0  | 21.6  |
| 時間がない   | 29.4  | 44.4  | 28.2  | 9.8   | 24.8  |
| 体重が気になる | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 2.4   | 0.8   |
| 食欲がなかった | 2.9   | 5.6   | 3.1   | 7.3   | 4.8   |
| その他     | 17.7  | 22.2  | 12.5  | 26.8  | 20.0  |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数     | 34    | 18    | 32    | 41    | 125   |

[男女別]

(単位: %)

|         | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| おいしくない  | 6.7   | 19.4  | 38.9  | 33.3  | 25.0  | 27.8  |
| 量が多い    | 13.3  | 30.6  | 0.0   | 24.1  | 7.1   | 14.4  |
| 時間がない   | 46.7  | 30.6  | 5.6   | 18.5  | 28.6  | 23.3  |
| 体重が気になる | 0.0   | 0.0   | 16.7  | 1.9   | 0.0   | 13.3  |
| 食欲がなかった | 6.7   | 2.8   | 0.0   | 7.4   | 0.0   | 5.6   |
| その他     | 26.6  | 16.6  | 38.8  | 14.8  | 39.3  | 15.6  |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数     | 15    | 36    | 18    | 54    | 33    | 90    |

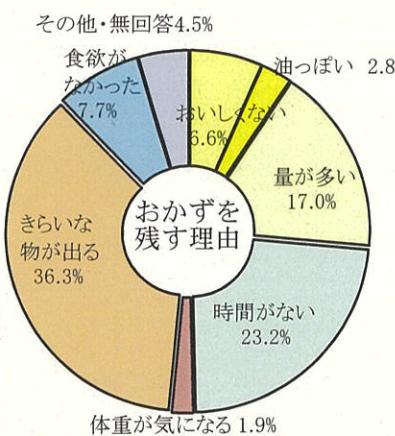
給食を残す理由は、「おいしくない」「時間がない」「量が多い」の順で割合が高い。男女別に比較すると、男子は「時間がない」、女子は「おいしくない」の割合が高い。

「その他」を選択した児童生徒の主な記述内容は、次のとおりである。

[小学校] 冷たくてお腹が痛くなるから。牛乳パックをたたむのがめんどくさい。  
など

[中学校] 息が臭くなるから。嫌い。身体に悪い。吐いたことがある。など

(【質問6】でおかずを「ときどき残す」「いつも残す」と答えた児童生徒が回答。)



[学年別]

(単位：%)

|          | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| おいしい     | 3.2   | 6.8   | 5.1   | 7.4   | 16.4  | 6.6   |
| 油っぽい     | 2.1   | 2.9   | 3.8   | 4.3   | 1.5   | 2.8   |
| 量が多い     | 20.2  | 14.6  | 22.8  | 5.3   | 20.9  | 17.0  |
| 時間がない    | 28.7  | 18.4  | 15.2  | 27.7  | 17.9  | 23.2  |
| 体重が気になる  | 4.8   | 1.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 1.9   |
| きらいな物が出る | 21.8  | 45.6  | 40.5  | 48.9  | 40.3  | 36.3  |
| 食欲がなかった  | 14.9  | 3.9   | 5.1   | 3.2   | 3.0   | 7.7   |
| その他      | 2.7   | 5.8   | 1.3   | 3.2   | 0.0   | 2.8   |
| 無回答      | 1.6   | 1.0   | 6.2   | 0.0   | 0.0   | 1.7   |
| 計        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数      | 188   | 103   | 79    | 94    | 67    | 531   |

[男女別]

(単位：%)

|          | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|          | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| おいしい     | 10.2  | 2.9   | 12.8  | 10.7  | 10.8  | 5.7   |
| 油っぽい     | 3.4   | 2.9   | 4.3   | 2.7   | 3.6   | 2.8   |
| 量が多い     | 19.3  | 20.0  | 0.0   | 15.2  | 15.2  | 18.3  |
| 時間がない    | 21.6  | 23.9  | 23.4  | 24.1  | 22.0  | 24.0  |
| 体重が気になる  | 1.1   | 3.4   | 0.0   | 0.0   | 0.9   | 2.2   |
| きらいな物が出る | 31.3  | 33.7  | 51.1  | 43.8  | 35.4  | 37.2  |
| 食欲がなかった  | 9.1   | 9.3   | 6.4   | 1.8   | 8.5   | 6.6   |
| その他      | 2.3   | 3.9   | 2.0   | 1.7   | 2.2   | 3.2   |
| 無回答      | 1.7   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 1.4   | 0.0   |
| 計        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答数      | 176   | 205   | 47    | 112   | 223   | 317   |

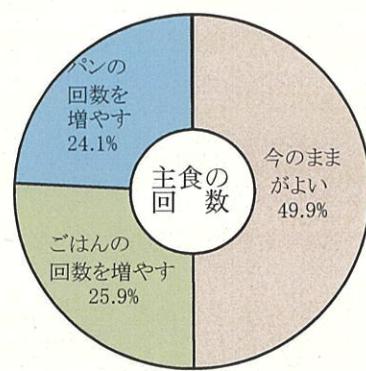
おかずを残す理由は、「きらいな物が出る」、「時間がない」、続いて「量が多い」の順である。

「その他」を選択した児童生徒の主な記述内容は、次のとおりである。

[小学校] 野菜がよく出るから。骨が入っているから。など

[中学校] 野菜が多い。など

【質問8】主食の回数についてどう思いますか。（現行：週当たり米飯3.5回、パン1.5回）



〔学年別〕

(単位 : %)

|            | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ままがよい      | 45.7  | 50.1  | 47.8  | 54.0  | 52.9  | 49.9  |
| ごはんの回数を増やす | 15.2  | 24.2  | 31.2  | 27.9  | 31.8  | 25.9  |
| パンの回数を増やす  | 38.7  | 25.7  | 21.0  | 18.1  | 15.3  | 24.1  |
| 無回答        | 0.4   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.1   |
| 計          | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人)    | 315   | 339   | 337   | 287   | 274   | 1,552 |

〔男女別〕

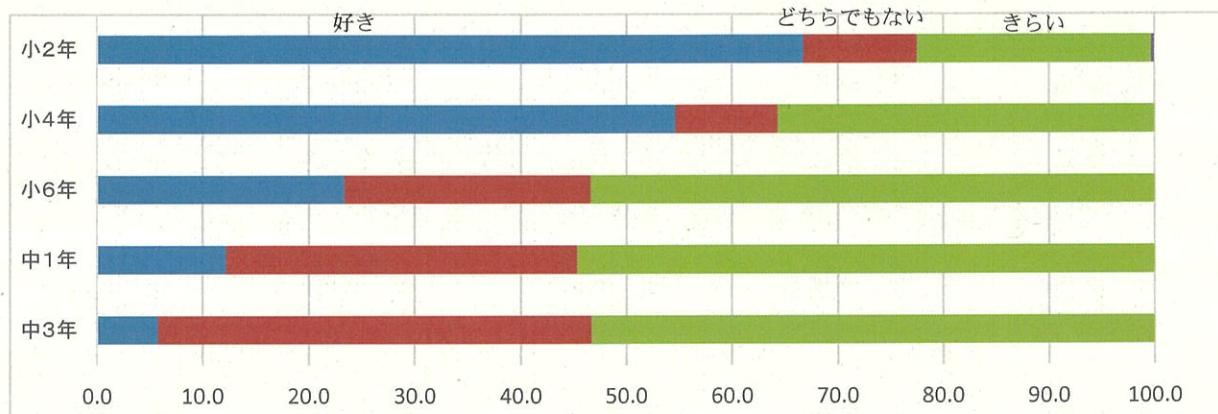
(単位 : %)

|            | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|            | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| ままがよい      | 44.0  | 52.9  | 50.7  | 56.0  | 46.2  | 54.1  |
| ごはんの回数を増やす | 27.7  | 20.0  | 32.2  | 27.8  | 29.2  | 22.9  |
| パンの回数を増やす  | 27.9  | 27.1  | 17.1  | 16.2  | 24.3  | 23.0  |
| 無回答        | 0.4   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.3   | 0.0   |
| 計          | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人)    | 548   | 480   | 270   | 284   | 818   | 764   |

「ままがよい」が最も多く、「ごはんの回数を増やす」の割合が高くなる。

男女別で比較すると、男子の方が「ごはんの回数を増やす」割合が高い。

【質問9】給食当番は好きですか。



[学年別]

(単位：%)

|         | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 好き      | 66.7  | 54.6  | 23.4  | 12.2  | 5.8   | 33.8  |
| きらい     | 10.8  | 9.7   | 23.2  | 33.1  | 40.9  | 22.7  |
| どちらでもない | 22.2  | 35.7  | 53.4  | 54.7  | 53.3  | 43.4  |
| 無回答     | 0.3   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.1   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) | 315   | 339   | 337   | 287   | 274   | 1,552 |

[男女別]

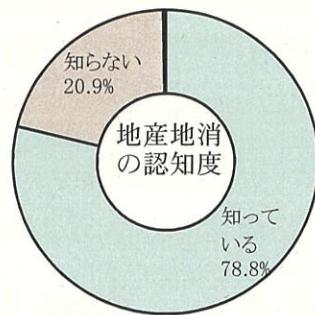
(単位：%)

|         | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| 好き      | 42.0  | 52.7  | 8.5   | 9.9   | 30.9  | 36.8  |
| きらい     | 19.0  | 9.6   | 41.5  | 32.0  | 26.4  | 17.9  |
| どちらでもない | 38.7  | 37.7  | 50.0  | 58.1  | 42.4  | 45.3  |
| 無回答     | 0.3   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.3   | 0.0   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) | 548   | 480   | 270   | 284   | 818   | 764   |

給食当番が「好き」と答える児童生徒は、中学生になると極端に減少する。小学校高学年になると、半数近い生徒が「どちらでもない」と回答している。

男女別では、小・中学校とも男子の方が「きらい」の割合が高い。

【質問1】給食に三木市産の米や野菜を使っていることを知っていますか。



[学年別]

(単位：%)

|         | 小2年   | 小4年   | 小6年   | 中1年   | 中3年   | 計     |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 知っている   | 70.5  | 79.6  | 90.5  | 79.8  | 71.9  | 78.8  |
| 知らない    | 28.3  | 20.4  | 9.5   | 20.2  | 28.1  | 20.9  |
| 無回答     | 1.2   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.3   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) | 315   | 339   | 337   | 287   | 274   | 1,552 |

[男女別]

(単位：%)

|         | 小学校   |       | 中学校   |       | 計     |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     |
| 知っている   | 78.5  | 81.7  | 77.4  | 73.9  | 78.1  | 78.8  |
| 知らない    | 21.0  | 18.1  | 22.6  | 26.1  | 21.5  | 21.1  |
| 無回答     | 0.5   | 0.2   | 0.0   | 0.0   | 0.4   | 0.1   |
| 計       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 回答者数(人) | 548   | 480   | 270   | 284   | 818   | 764   |

昨年度より「知っている」の割合が7.1%増加した。小学校は、学年が上がるにつれ、認知度は上がってきている。

【質問1】給食についての感想や希望があつたら、何でも書いてください。

給食について自由な感想等を聞いたところ、「〇〇がおいしい。〇〇をもっと出してほしい。」という記述が大多数であった。(〇〇は、バタートップパンやカレー、麺類、肉、デザート、ジュース、セレクト給食などが多い。)

その他の意見等は、次のとおりである。

(1) 給食に対して肯定的な記述

- ・いつも違うメニューですごくおいしく、明日は何の給食なのか楽しみになる。
- ・大人になっても、朝から晩まで一生食べたいくらいおいしいです。
- ・給食のおかげで苦手な食べ物が食べられるようになったり、好きな食べ物が増えた。

(2) 給食に対して否定的な記述

- ・人参料理が多いから減らしてほしい。
- ・栄養バランスも大事だけど、ご飯に合うおかず、パンに合うおかずにしてほしい。
- ・給食当番がめんどくさい。

(3) 給食に対する希望

- ・牛乳を冬は温かくしてほしい。
- ・魚の骨を取ってほしい。
- ・もっと新しいメニューを増やしてほしい。
- ・前みたいに班にして、みんなと話しながら食べたいです。
- ・児童生徒が考えたメニューを出すなどの企画をしてほしい。

### 3 総括

このアンケートの結果を踏まえ、次のように総括する。

#### (1) 「食」への関心

全体的に低学年ほど学校給食について肯定的な回答が多い。学年進行とともに否定的な回答も増加するが、それ以上に肯定も否定もしない回答の増加が著しい。

このことは、学年進行とともに「食」への関心が薄れる傾向があるとも考えられ、食育を通じて「食」の重大さを認識させる必要がある。

#### (2) 給食の量及び食べ残し

給食の量についての感じ方に男女差があるので、各教室で量を調整できるものは、個人に応じて調整するなど工夫が必要である。

また、中学生になると食べ残す生徒が多くなる傾向になる。成長期に必要な量なので、残さないように指導するとともに、献立を工夫する必要がある。

#### (3) 主食の回数

主食の回数については、現状維持（米飯3.5回／週、パン1.5回／週）という回答が最も多いものの、パンよりも米飯を増やすことを望む回答がやや多い。

給食当番で？

#### (4) 給食当番

学年が進むにつれ給食当番を嫌う傾向にあるが、学校給食の目標である社交性及び協同の精神を養うためにも給食当番は必要なことであるため、いっそうの指導を行っていただきたい。

#### (5) 朝食

朝食は、「毎日食べている」、「ほとんど毎日食べている」が合わせて90%であるが、一方で、7.6%生徒は、「全く食べていない」、「あまり食べていない」という実態である。体力面・学習面において、朝食を毎日とる児童生徒の方が優位であるという結果が出ている。

また、成長期のこの時期に朝食を欠食することは、その発達に大きな影響を及ぼすとともに、幼少期の欠食は大人になってからも続く傾向があり、規則正しい食生活を習慣づけるためにも、朝食の重要性をもっと啓発していかなければならない。

#### (6) 地産地消の取組とその啓発

学校給食における地産地消の取組の「知っている」の割合が、7.1%増加した。学校給食における地産地消は、新鮮で安心な食材を調達できるのみならず、子どもたちが郷土に対する理解や愛着を深める上でも大きな効果が期待される。

従って、地元産の食材を学校給食により多く取り入れるとともに、そのことを各学校園において献立表・献立カレンダー・放送資料等を活用して児童生徒に適切に伝える必要がある。

## 三木市学校給食に関する課題について

### 有機農産物の活用について

市場に出回る野菜、市内産の野菜は、生産団体が残留農薬検査を実施し、基準を満たした食材を使用し、食の安全性は現在も確保できている。

そこで、SDGs達成に向けた環境教育として持続可能な農業を学ぶために有機農産物を学校給食にどのように取入れていくのかについて検討する。

#### (市内での有機JAS認定状況)

市内認定団体：イオンアグリ（口吉川町里脇）

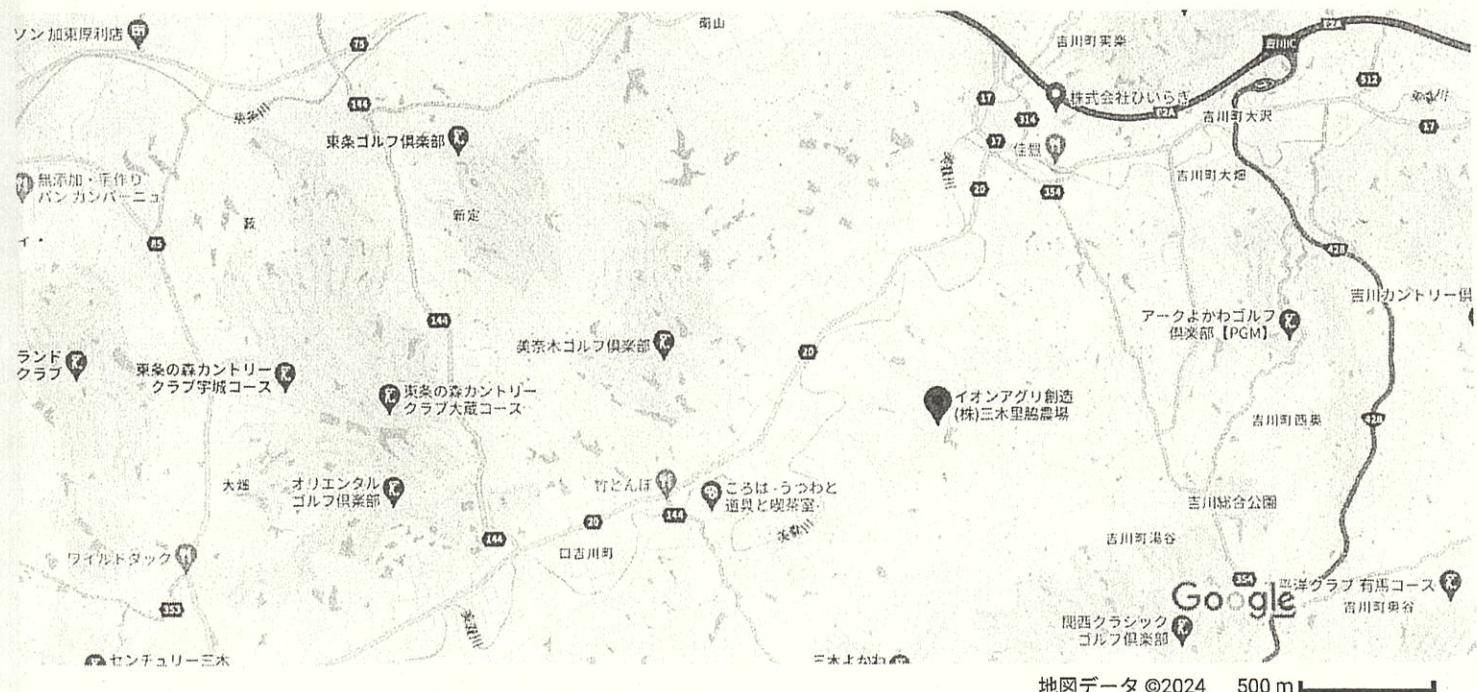
・2013年開場 面積11ha うちハウス28棟

2019年有機JAS認証取得 栽培開始

・栽培品目：キャベツ・チンゲン菜・ブロッコリー・レタス・  
ほうれん草・小松菜

・環境教育として、農場見学（体験）も可能

### Google イオンアグリ創造（株）三木里脇農場



地図データ ©2024 500m